

付屬資料3

打合せ記録簿（現場調査終了時）

カンボジア国プレクトノット川流域農業総合開発計画予備調査
帰国前現地調査報告会 議事録

1. 議 題 カンボジア側への調査結果報告

2. 日 時 平成 16 年 1 月 8 日 (木) 08:00 ~ 11:00

3. 場 所 国内メコン委員会 会議室

4. 出席者

(1) 国内メコン委員会

HE.Mr. Sin Nin	Vice Chairman	(当会議議長)
HE.Mr. Pich Dun	Deputy Secretary General	
Mr. Huot Sonn	Project Department	Director
Mr. Watt Brothodal	Planning Department	Deputy Director
Mr. So Sophort	Project Department	Deputy Director
Mr. Huong Sunthan	WUP	Coordinator
Mr. Chheang Hong	Project Department	Programme Officer
Mr. Sok Khom		E.P. Officer
Mr. Suos Bunthan	Planning Department	
Mr. Im Sokhom	Project Department	

(2) 水資源気象省

Mr. Pich Veasna	Department of Planning and International Cooperation	Director
Dr.Mr. Theng Tara	Water Resources Management Dept.	Director
Mr. Sok Sam Aun	Water Resources Management Dept.	

(3) 農林水産省

Dr.Ms. U Sirit	Environmental Impact Assessment Office Planning, Statistic and Inter- National cooperation	Chief
Mr. Prak Thaveak Amida	Planning, Statistic and Inter- National cooperation	
Mr. Mah Chantha	Planning, Statistic and Inter- National cooperation	

(4) 環境省

HE.Mr. Prach Sun	Under Secretary of State	
Mr. Chea Chan Thoe	Planning and Legal Affair	

(5) 独立行政法人国際協力機構 (JICA)

武 市 二 郎	カンボジア事務所	企画調査員
---------	----------	-------

(6) 実施調査団

石 川 尚	農村開発	(株)ドーコン
三 部 信 雄	水資源 / 灌漑排水	(株)ドーコン

5. 議事次第

- (1) 議長 Sin Niny (国内メコン委員会副議長) より開会挨拶
- (2) 調査団より結果報告
- (3) 質疑応答
- (4) 議長 Sin Niny (国内メコン委員会副議長) より開会挨拶

6. 議事内容

調査団より、英文要約およびスライドにより調査結果を約 40 分間説明した。その後の質疑応答の内容は以下のとおり。

- (1) 冒頭議長より以下のコメントがあった。
 - プレクトノット川流域開発は積年の最優先案件であり、カンボジア側としても水力開発を目的からはずすなどの工夫をしつつ再開実施を模索してきた。
 - 調査団の提案は、「現段階ではプレクトノットダム建設の推進は困難であり、代替案によって流域開発を行うべき」とのもので、既存施設を活用することから始めるアプローチは評価できる。
 - しかしながら、水源不足の現状でいかに流域の農業開発を行うかはまた難題である。
 - 調査団が CNMC 議長（水資源気象省大臣）を表敬した際に、議長は「プレクトノットについては既に多くのスタディがなされており、また同様なスタディに時間や費用を費やすのではなく、現実的ですがすぐに効果発現のできる具体的な提案をしてほしい」と述べられた。来る開発調査では、より現実的で早く実現できる開発計画の策定を期待している。
- (2) 1960 年代のスタディでは対象面積は 70,000 ㊦であったが、今回の調査では面積が縮小されているのはなぜか？ また F/S 対象事業のターゲットを 10 年としているが、10 年は長すぎるのではないか？【国内メコン委員会】

1960 年代のスタディでは「多目的ダム建設」を前提にしており、灌漑面積は当然大きい。来る開発調査では、中短期で実現可能な事業について優先的に取り上げることとしており、その期間での水源開発が困難なことから、現況水源をベースに計画対象地域を絞り込むことを提案している。したがって灌漑可能面積も小さくなる。また、これまでプレクトノットダム建設に費やしてきた 40 年間で踏まえての「短中期 10 年」であり、10 年以内にはできることは速やかに実現する事業実施計画が立てられるだろう。【調査団】
- (3) まず、上流域の小規模ダム開発について環境省に確認したい。野生動物保護区において小規模ダム開発をすることは可能なのか？【水資源気象省】

環境影響評価(EIA)を実施して、その結果によって建設の可否が決定される。【環境省】

(4) 手続きについて聞いているのではない。ダムは建設できるということか？【水資源気象省】
詳しいダム候補地点もわからないので現時点ではなんとも言えないが、環境影響評価の結果によって判断されるということだ。【環境省】

(5) 調査団が説明した「総合評価指標」は数字で表すのはいかがなものか。各開発アプローチはそれぞれ目指すものが違うので、単純に点数で評価することは適当ではない。さらに、調査団の示した評価には納得できない部分もある。【水資源気象省】

まず、今回用いた開発アプローチの評価方法は、「評価過程の透明性」を確保することを念頭においている。各ステークホルダーが独自の考えを示すことも重要なことであり、様々な意見があればそれを提示してほしいと考えている。

調査団としては、対象地域全体を開発するためには全ての開発アプローチが必要と考えている。たとえ点数が低くても、そのアプローチでなければ実現できない開発目標があるということだ。総合数値指標は複数の開発アプローチが適用しうる特定地域で、開発アプローチを選択するために参考にするものと考えてほしい。【調査団】

(6) 項目 80 に示されている開発調査の内容には、マスタープランとフィジビリティスタディと書かれているが、項目 82 にはフィジビリティスタディのことしか書かれていない。項目 82 にも「長期」のマスタープランと記述すべきではないか？【水資源気象省】

項目 82 に書いているのは、開発調査における特記事項であり、焦点を当てるべき事項である。開発調査の内容は大まかに項目 80 に書かれているとおりである。ただし、「フェーズ 3」については、カンボジア側の要請にも入っていない事項で、調査団が必要と判断し提案しているものにすぎない。したがって開発調査でフェーズ 3 が実施されるかどうかは明言できない。また、マスタープランの目標年を何年にするかなどは S/W ミッションの協議事項であり、その結果を S/W に添付する議事録 (M/M) に記載することとなる。調査団としては 20 年くらいのマスタープランあるいは開発構想提示をイメージしてきた。【調査団】

(7) 要請書ではプノンペン首都圏の一部も入っていたはずだが、どうして計画対象地域から外されたのか？ ダンカオ (Dangkao) を入れてほしいのだが。【国内メコン委員会】

水源に余裕もなく調査団の判断で除外したが、カンボジア側の意向としてはダンカオを入れたいということをも日本側に伝達する。【調査団】

(8) プレクトノット多目的ダムの EIRR が 3.9 % は低すぎるのではないか？ 1992 年の Re-appraisal Study では 9.5 % だったはずだが。【国内メコン委員会】

EIRR が低くなった主な理由はコメの国際価格の下落 (便益減) と上流域の住民移転に係る環境コストの増大 (コスト増) である。【調査団】

- (9) 計画対象地域では現在「西ブノンペン総合開発計画」として灌漑農業開発が進められているが、そのことを調査に反映しているか？ 調査結果ではプレクトノット川自流による灌漑面積を 5,000 ㊦程度としているが上記プロジェクトは 24,000 ha を対象としているのだが…。

【国内メコン委員会】

現況分析の 4 つの類型のうち、タイプ A とタイプ B は合計 20,000 ㊦でこれは「西ブノンペン総合開発計画」の対象地区の一部である。しかし、1992 年の Re-appraisal 報告書でも自流による灌漑面積を 4,200 ㊦としているように、現時点では作付率 150 %、80 % 確率であれば 5,000 ㊦（通年で 7,500 ㊦）程度しか灌漑できない。確率水準を下げればより広い面積の灌漑が可能になる。【調査団】

- (10) 来る開発調査における各フェーズの期間はどのくらいか？ 【国内メコン委員会】

これも S/W ミッションとの協議事項であり、我々から断定的なことは言えないが、一般的には各フェーズ 3 ヶ月程度だと思う。第 3 フェーズは 1~2 年の期間となることが多いようだ。【調査団】

- (11) プレクトノットダムはダム高を下げるのはどうか？ 【国内メコン委員会】

既に検討したが、水田は河川近くの低地にあるため、ダム高を下げてても移転対象は 30 % 程度しか減らない。また、コストは思ったほど下がらず、経済性はさらに厳しくなる。【調査団】

- (12) 上流だけでなくロランチェレイの下流域の貯水池はどうか？ たとえば O' Krang Ambel のアップグレードはどうか？ 【国内メコン委員会】

O' Krang Ambel は 2 つの水源を持ち、利水安全度も高く調査団としてもポテンシャルの高いシステムだと思っている。開発調査のなかで取り上げられると思う。【調査団】

- (13) プレクトノットダムの経済性が低いのはコメ二作としているからではないか？ 高価値作物を入れれば便益はもっと出るはずだ。 【議長】

（コメントのみ）

- (14) 公聴会はコンボンスプー州とカンダール州でしかやっていない。どうしてタケオでは開催しなかったのか？ 【国内メコン委員会】

公聴会の目的は調査団が提示した現状の類型化と開発アプローチの検討を受益者の立場で行うとどうなるのか、また、彼らの開発に対する意向やコメントを聞くことである。対象地域の大部分を占める 2 州で公聴会を行うことでその目的が達せられたと理解している。【調査団】

(15) この予備調査の次のステップはどうなるのか？【国内メコン委員会】

一般的にはこのあと S/W ミッションが派遣され、その後開発調査が実施される。具体的にいつ頃派遣されるかについてはわからない。【調査団】

(16) 英文要約項目 14 にある流出量はダムを建設した場合か、現況か？ また、開発アプローチで「水稻二期作最大 5,000 畝」というのがあるが、ダムのあるなしで面積は変わるのではありませんか？【国内メコン委員会】

流量は現況流量である。指摘の通り、ダムのあるなしで面積は大きく変わる。水稻二期作の面積は、開発の目標年、ダムのあるなしによって変わってくることになる。それも開発戦略の一部と考えている。【調査団】

(17) 現段階での質疑はこれくらいと思う。レポートは今日手元に渡ったこともあるしまだ十分読めていない。追加のコメントや質問がある場合はどうすればいいか？ 【議長】

帰国後の会議は 2 月に入ってからになる。2 週間以内にコメント、質問を送ってくれば対応し、報告書に反映させる。【調査団】

(18) 了解した。CNMC が質問・コメントをとりまとめ、JICA 事務所経由で調査団に届くようにする。S/W ミッション、開発調査の開始時期がいつになるかはっきりしていないようだが、カンボジア側としてはプレクトノット流域の農業開発には日本の協力が不可欠と考えており、調査団は是非とも積極的に日本側に調査の早期実施を働きかけてほしい。我々は開発調査の実施を強く期待している。【議長】

(コメントのみ)

以 上

付属資料4
RRA 調査結果

付属资料 4: RRA 调查结果

目次

	<u>ページ</u>
第 1 章 調査実施方法.....	- 279
1.1 調査対象村	- 279
1.2 調査方法	- 279
第 2 章 調査結果.....	- 280
2.1 上流	- 280
2.1.1 キー・インフォーマント・インタビュー	- 280
2.1.2 インディビデュアル・インフォーマント・インタビュー1	- 284
2.1.3 インディビデュアル・インフォーマント・インタビュー2	- 287
2.2 中流	- 289
2.2.1 キー・インフォーマント・インタビュー	- 289
2.2.2 インディビデュアル・インフォーマント・インタビュー1	- 292
2.2.3 インディビデュアル・インフォーマント・インタビュー2	- 295

第1章 調査実施方法

1.1 調査対象村

RRA 調査は下図に示す 2 箇村で実施した。プレクトノット川の上流部に位置し、ダム建設により水没するエリアにある村と、プレクトノット川の中流部に位置し、ダムの建設により灌漑地区となるエリアにある村である。

上流部の村はコンボンスプー州 Phnum Sruoch 県 Prey Rumduol コミューンの Prey Romiet 村。全ての世帯がダム建設により水没するエリア内に居住している。中流部の村はコンボンスプー州 Samraong Tong 県 Trapeang Kong コミューンの Ou Krang Ambel 村である。

Prey Romiet 村はプノンペンから Sihanoukville に続く国道 4 号線から 5^{km}程非舗装の道路を入ったところにある村である。一方 Ou Krang Ambel 村は国道 4 号線沿い、コンボンスプー州の州都からは 10^{km}程にある村である。両村ともプノンペンから近く、車で 1 時間～1 時間半程度の距離にある。

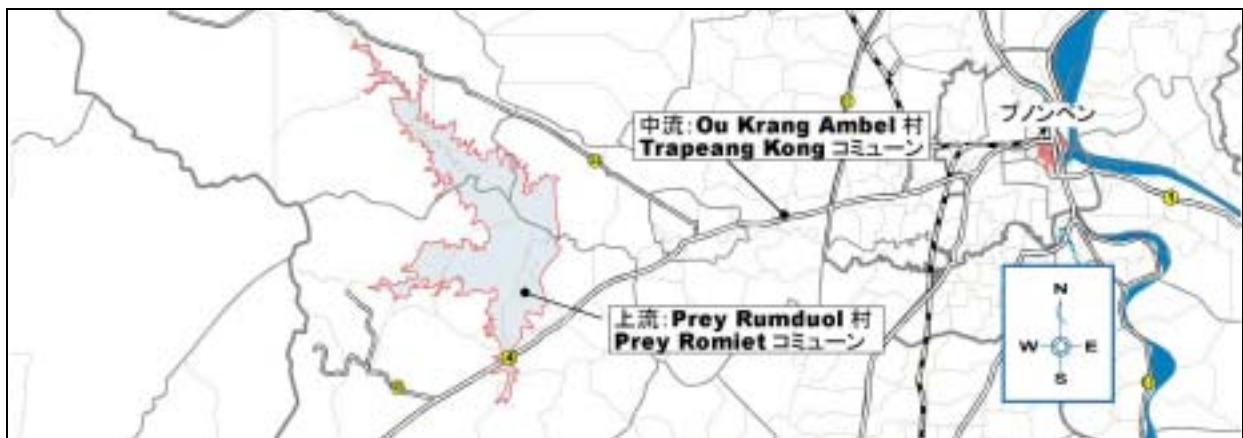


図 調査対象村

1.2 調査方法

調査は 2003 年 11 月 10 日と 11 日の二日間にわたって行った。調査対象地点（村）は統計データによる村の特殊性を確認したうえで、農業省職員、コンボンスプー州農業省職員に相談の上で、プレクトノット川の上流部と中流部の 2 箇所（村）から選定した。

キー・インフォーマントは対象村の村長とその村が属するコミュニティの長とした。インディビジュアル・インフォーマントは両村から 2 名ずつ選出した。インディビジュアル・インフォーマントの選定に際しては、水稻栽培を行っている農家とし、それぞれ異なったキャラクターを持つ農家を意図的に選定した。今回抽出した農家の特色（キャラクター）は以下のとおりである。

- 大規模稲作農家
- 家畜飼養稲作農家
- 小規模稲作農家
- 未亡人稲作農家

なお、インディビジュアル・インフォーマント（個別農家）の面談に際しては、村長やコミュニティ長の同席を拒否した。これは農家が属するコミュニティの有力者が同席した場では、一般的に弱い立場にある末端の農家が自由な意見を我々に伝えてくれない可能性があるためである。

調査は午前中にキー・インフォーマントと面談調査で、村の概要を把握した上で、午後にインディビジュアル・インフォーマントの調査を行った。

第2章 調査結果

2.1 上流

2.1.1 キー・インフォーマント・インタビュー

基礎データ	
● 調査日	2003年11月10日(月)午前
● 調査実施場所	Prey Rumduol コミューン事務所
● 調査対象者	Mr. Oum Rin (Prey Rumiet コミューン長) Mr. Heug Peulim (コミュニティ事務官) Mr. Men Mao (Prey Rumduol 村長)
● 調査対象地域	Prey Rumduol 村/ Prey Rumiet コミューン/ Phnum Sruoch 県/ コンボンスプー州
● 調査実施者	石川 尚、三部信雄、板谷誠治、岩橋俊郎：調査団 Mr. Soun Sam Aun：水資源気象省 Mr. Prak Cheatho、Mr. Prak Thaveak Amida：農業省 Ms. Pech Lim：コンボンスプー州農業局

地域データ		
	Prey Rumduol 村	Prey Rumiet コミューン
人口	825	4,244
女性	396	2,153
世帯数	175	843
女性戸主世帯数	26	86
平均家族数	4.7	5.0
雨季天水田面積 (ha)	-	1,391
雨季補給灌漑面積 (ha)	-	0
雨季水稻生産量 (ton)	-	905
雨季平均収量 (ton/ha)	-	0.65
乾季灌漑水田面積 (ha)	-	0
乾季減水期栽培水田面積 (ha)	-	0
乾季水稻生産量 (ton)	-	0
乾季平均収量 (ton/ha)	-	0
牛飼養農家数	160	706
豚飼養農家数	165	575
出典：SEILA Database 2002		

村の情報	
● 人口	864人(10年前は約600人であった)
● 世帯数	175世帯:全世帯が農民
● 飲料水源	川の水を煮沸せずに直接飲んでいる。毎日川に水汲みに行く。下痢を起こすこともある。 水瓶がないので雨水は使わない。
● 道路	井戸はない。味は井戸<川<ミネラルウォーター 国道4号線からコミューン事務所を通り村まで続く道路は2001年にMRDがIMFの予算で建設したものである。維持管理は行っていないが、状態は良い。道路建設時にコミューンの住民60人からなる維持管理委員会が結成された。
● 電化率	電化されていない。明かりにはオイルランプが用いられている。7割の農家が自動車用バッテリーを利用してテレビを視聴している。バッテリーの充電はコミューン事務所(4km先)傍で行われている。1週間~3日間の頻度で充電している。
● 学校	コミューン内に小学校2クラスあるが、村の子供143人のうち45人しか就学していない。未就学の理由は小学校が村から遠い(5kmで1時間かかる)ため。村内に小学校を建設する計画がありドナーを探している。12クラスで60,000ドル必要。 中学校は県庁所在地にある。村からは10km離れている。6人が通学している。 高校は州庁所在地にある。村からは35km離れている。村内からは通っている者はいない。
● その他	村内には郡の駐留地(1993年~)があり、250人ほど駐留している。 土地なし農民はいない。ポル・ポトの統治終了後に家族数に応じて公平に配分された。10a/人。 土地の登記を行っている者は皆無。 農民グループは無い。村内の地雷被害者の農作業を手伝うグループがNGO(NCDP)により結成された。

農業	
● 耕種	水稲および畑作
● 土地利用	水田:205ha、畑:50ha、森林:24ha
● 土壌	砂質土で粒径が小さい土壌の収量は収量が低く(0.7ton/ha)、粒径が大きい土壌の収量は高い(2.0ton/ha)
● 耕地面積	平均1.2ha/戸の水田を所有する。
● 品種	畑:大豆、豆類、緑豆、野菜(かぼちゃ、キャベツ、きゅうり)、キャッサバ 自家消費用
● 作付体系	天水水稲1作
● 収量	0.7~2.0ton/ha
● 施肥および農薬の使用	尿素が施用されている。 農薬は使用されていない。
● 水源	天水田のみである。
● 問題点	労働力は足りているが、畜力が不足している。 洪水の被害で収穫できないこともある。今年は3度洪水の被害にあい、6割の農地が水没した。去年はほとんど洪水の被害は無かった。

畜産・漁業	
● 畜産	牛(2~3頭/戸)、鶏(10~20羽/戸)、豚(1~2頭/戸)が飼養されている。 牛:半数の農家が飼養しており、現金が必要になった際に販売する。牛の

	<p>価格は 100 万リル/頭。 鶏：6 割の農家が飼養している。販売価格は 7,000 リル/羽。 豚：8 ヶ月間飼養し、10 万リル（60 kg 成体）で販売する。</p>
● 漁業	川や池で毎日のように行われている。体長 10 cm 程度の小魚。自家消費用。
● 問題点	<p>豚の病気：5 割の豚が、下痢、発疹に罹病している ワクチンの接種は行われていない。 乾季に家畜用の水と餌が足りない。</p>
● その他	労働交換として牛が耕起を行った場合、人力も 1 日田植えや収穫を手伝う。

その他	
●	ダム建設計画は昔聞いたことがある。その計画が現在どうなっているのかは知らない。
●	村の歴史については知らない。自分が生まれたときから村はここに存在した。
●	コミューン事務所に電話はない。携帯電話の通話可能エリア内である。
●	4 割の農家が山で竹の採取を行っている。1 度山へ入ると必要経費を除くと 4 万リル（\$10）の利益がある。牛車を使用する。山での竹の採取は違法ではない。森林警備隊に入山許可のための賄賂を渡すこともない。
●	炭焼きは行っていない。山奥（20 km 先）から薪炭を売りに来る。
●	農作業（田植え、収穫作業）を雇用労働で行った場合、食事付で 4,000 リル（\$1）/日払う。
●	出稼ぎに出る者はいない。他のコミューンから農作業に来る。
●	<p>コミューン長及び村長は給料をもらっている。 コミューン長：100,000 リル/月、コミューン長の任期は 5 年で 2002 年 2 月に選出された。それまでは普通の農民であった。以前の村長は前回の選挙で落選。 村長は 1979 年、ポル・ポト撤収時から村長である。村長の月給：22,000 リル/月。</p>
●	<p>コミューン事務所傍の山間部にポル・ポト郡の駐留地があったため、そこを中心に地雷や不発弾がたくさん発見されている。コミューン内には 47 人の犠牲者がいる。対象村では 15 人が被害にあっている。</p>

写真



キー・インフォーマント
(左から村長、コミュニティ長、コミュニティ事務官)



コミュニティ事務所
(藁葺き屋根で壁もない質素な作り)



仲買人を待つ木炭
(道路脇におかれた薪炭：購入したものなのか、仲買人に販売されるものかは不明)



仲買人を待つ竹
(牛車1台分で4,000リルの利益が出る)



不発弾と地雷
(ボル・ポトの駐留地が近くにあったため、コミュニティ内にたくさんの不発弾と地雷が発見される)



井戸
(ヘルスセンターに設置)

2.1.2 インディビジュアル・インフォーマント・インタビュー 1

基礎データ	
● 調査日	2003年11月10日(月)午後
● 調査実施場所	調査対象者の自宅(屋外)
● 調査対象農家の特徴	大規模稲作農家 (オリジナルのダムによる水没予定地内に居住、農地所有)
● 調査対象者	Mr. Muy Meoun (世帯主、35歳)
● 居住地	Prey Romiet 村/ Prey Rumduol コミューン/ Phnum Sruoch 県/ コンボンスプー州 詳細位置 (Indian Datum 1954): 104°25'211E、12°58'804N
● 調査実施者	三部信雄、板谷誠治: 調査団 Mr. Mr. Soun Sam Aun: 水資源気象省 Mr. Prak Cheattho: 農業省

家族構成

同居家族

- 1992年結婚。1男4女7人家族。
- 夫側の両親は同村内に居住。
- 妻側の父は20km程度離れた同県(他コミュニティ)内に居住。
- 家族全員が栄養失調気味。頻繁に発熱し市販薬を飲んでいる。
- 長女と長男が今年から村内の青空教室に通学し始めた。

収入と支出

収入

支出

- 貯金及び借金は無い。
- 購入した食料品は調味料・油・魚、祭りの際に豚肉。
- 不足した米(6・7月頃)を村内の知人から160kg借り、現物で返済(1月)した。
- 肥料(尿素)50kgを借り、収穫した米200kgで返済。
- 現金収入は山から伐採した竹の販売とタイ国境近くの収穫作業手伝いのみ。農業収入は無い。

農業

- 水田を2haと小さい畑を所有。牛2頭所有。
- 水田: 4箇所合計2ha所有、規模的に村内で中位。自宅から水田までの距離は近くの水田で1km、遠い水田で7km。
- 4箇所全て天水田。
- 収量: 1,000kg(0.5ton/ha) この中から肥料(尿素)購入の代金として200kgを支払った。自家消費分として不足(年間400kg程度)し、160kgを村内の知人から借りた。
- 水稻の品種は在来種のKon ChenとPram Bey Kourの2種類。自家生産の種子を使用。
- 本田の田起こし等の準備と苗の準備を5月中~6月中頃。移植: 6月中~7月中頃。収穫: 12月頃~(4ヶ所の圃場の収穫期間は2ヶ月間で、その内実働20日間程度)。

- 圃場の準備は夫。移植は労働交換により複数名で行う。米の収穫作業は奥さんが行い、夫は収穫物を圃場から自宅までの運搬を担当。
- 水稲には尿素 10 kg/ha/year を施肥（購入代金は収穫物（米 200 kg）で支払い）。他に厩肥も施用しているが洪水により流出してしまう。
- 洪水の後にイネに病気が発生するが、農薬は不使用。ねずみの害もある。
- 畑ではトウモロコシと野菜を少々栽培している。野菜の種子は近所から分けてもらった。トウモロコシの種子は購入（2,000 リル）。
- 所有する 2 頭の牛のうち 1 頭は夫側の両親から譲り受けたもので、もう 1 頭は 2002 年 4 月頃に自分（貯金）で購入。1,200,000 リル（400 \$）。
- 牛には自宅周辺の草を食べさせている。年間を通して不足することはない。
- 牛は耕起と運搬に使用している。

その他

- 長女と長男が通学する村内の青空学級：教師は県から派遣されている。学費無料。学校は村内にあり、近くの 2 村から合計 300 人の生徒が午前と午後の二部制で勉強している。
- 所有している水田は夫の両親から相続。両親が未利用地を開墾し、兄弟 6 人に相続した。
- 金銭的な余裕があれば、豚と牛を購入し肥育したい。
- 現在考えられる収入増加の方法は、水田を新規開拓しコメの生産量を増加させることである。竹の伐採量を増やすのは、採取地の竹の量が少なくなっているし、遠隔地のため牛が疲労してしまうため無理と考える。

写真



調査対象者（世帯主）



家族

（妻と長女は調査時不在）



住居

（木造茅葺、左部分がダイニング・キッチン、右側が居住スペース）



畜舎

（住居手前に屋根だけの畜舎、夜間のみ牛を繋留。右端に雨水を貯める水瓶がある）



ダイニング・キッチン

（熱源は周辺から採取した枝・葉）



調査風景

2.1.3 インディビジュアル・インフォーマント・インタビュー-2

基礎データ	
● 調査日	2003年11月10日(月)午後
● 調査実施場所	調査対象者の自宅(屋外)
● 調査対象農家の特徴	家畜飼養稲作農家 (オリジナルのダムによる水没予定地内に居住、農地所有)
● 調査対象者	Mr. Oum Oeun(世帯主、49歳)
● 居住地	Prey Romiet村/ Prey Rumduol コミューン/ Phnum Sruoch 県/ コンボンスプー州
● 調査実施者	石川 尚、岩橋俊郎：調査団 Mr. Prak Thaveak Amida：農業省 Ms. Pech Lim：コンボンスプー州農業局

家族構成

同居家族

- 6男6女。現在は9人家族。
- 結婚等により別居した子供全員に牛1頭と水田20aを相続した。
- 健康状態は皆良好。

- 同居している子供のうち二人が農業に従事。
- 就学している子供は一人のみ。他の子供は家畜の世話を担当。
- 別居している子供のうち何人かは、自宅周辺に居住。

収入と支出

- 竹の採取に年7~8回行く：18歳の子供が中心。
- 年間2ヶ月間ほどコメが不足し、豚や竹の販売でコメを購入している。
- 貯金：10,000 Riel
- 借金：\$120、子供の結婚式費用(無利子)

農業

- 土地所有：水田2ha、畑0.5ha
- 水田は16区画で自宅から1.5km離れている。
- 池が隣接しているが、ポンプが無いため灌漑には利用できない。
- 移植：7月、収穫：12月
- 収量：1.5 ton/ha 化学肥料は不使用。牛の堆肥のみ。
- 品種：在来種
- 畑ではバナナ、ジャックフルーツ、キャッサバ、椰子の木を栽培している。
- バナナと椰子の実時々村内で販売することもあるが、他は自家消費。
- 所有する農具：牛車、鋤、ハロー、鎌、鍬

- 家畜：牛 4 頭（雄雌各 2 頭）、豚 2 頭、鶏 5 羽
- 家畜に関する問題点：豚の病気（子豚の生存率：80 %）
- 牛のワクチン接種は行っているが、豚にはしていない。

その他

- 竹の採取：自宅から 20 km 離れた所に泊り込みで 1 週間ほど採取する。
- ラジオを所有。
- 村内では平均レベルよりも上の暮らしをしていると思う。

2.2 中流

2.2.1 キー・インフォーマント・インタビュー

基礎データ	
● 調査日	2003年11月11日(月)午前と午後
● 調査実施場所	Trapeang Kong コミューン事務所
● 調査対象者	Mr. May Chan Thorm (Trapeang Kong コミューン長) 氏名不明 (コミュニティ事務官) Mr. Prom Mom (Ou Krang Ambel 村長)
● 調査対象地域	Ou Krang Ambel 村/ Trapeang Kong コミューン/ Samraong Tong 県/ コンボンスプー州
● 調査実施者	石川 尚、三部信雄、板谷誠治、岩橋俊郎：調査団 Mr. Soun Sam Aun：水資源気象省 Mr. Prak Cheattho、Mr. Heng Yuthin：農業省 Mr. Chin Orng：コンボンスプー州農業局

地域データ



	Ou Krang Ambel 村	Trapeang Kong コミューン
人口	606	13,252
女性	311	6,873
世帯数	105	2,495
女性戸主世帯数	50	965
平均家族数	5.77	5.31
雨季天水田面積 (ha)		73
雨季補給灌漑面積 (ha)		314
雨季水稻生産量 (ton)		600
雨季平均収量 (ton/ha)		1.55
乾季灌漑水田面積 (ha)		10
乾季減水期栽培水田面積 (ha)		10
乾季水稻生産量 (ton)		20
乾季平均収量 (ton/ha)		1.0
牛飼養農家数	72	1,453
豚飼養農家数	20	1,000

出典：SEILA Database 2002

村の情報	
● 人口	611人（家族計画により人口は余り増えていない。588人：1998年）
● 世帯数	106世帯（内8割が農家で副業を持つものが多い。残りは商人及び公務員）
● 面積	合計63ha（水田20ha：内8haは二期作、池19ha、宅地13ha）
● 飲料水源	池および雨水（井戸水の水質は良くない：洗濯・入浴に利用）
● 電化率	2世帯が電化されているのみ。6割の農家がバッテリーを利用している。国道沿いの商店等を中心に電化（個人業者）されており、夜間（17時～23時）のみ通電される。
● 学校	小学校はコミュン事務所横（村から30分程度）ともう1箇所（村から20分程度）にある：8割が通学。2割は落第等。中学校は村から5km程離れている。
● その他	VDC（村落開発委員会）及びCRDC（コミュン開発委員会）は2001年にWorld Vision（NGO）の協力により設立され、井戸・トイレ・コンポストの設置が行われた。 主な現金収入源は池から採取した小魚や蓮を市場で販売。その他に1割程度の農家が近傍の縫製工場で働いている：30～50\$/月。

農業	
● 耕種	稲作中心
● 土地利用	20haの水田のうち、8haが二期作で残りは一期作。 家庭菜園程度の畑を所有する農家が多いが、販売は行っていない。池から蓮を採取し販売する農家はある。 バナナ、椰子等の木を植えている農家が多い。一部州内で販売されている。
● 耕地面積	所有耕地面積は非常に小さく（平均0.2ha/戸）、不足するコメを購入している農家が多い。最大所有面積は1.5ha。
● 品種	在来種を植えている農家がほとんどである。品種はChmar PromとPram Bey Kour。 3世帯が高収量品種であるIR66やCar6で二期作を行っている。
● 作付体系	在来種 6～9月：移植、12月収穫。 高収量品種 5月移植、7月収穫（1作目）、9月移植、12月収穫（2作目）、作期は共に3ヶ月間。
● 収量	在来種：2ton/ha。 高収量品種：1.5ton/ha（収量が低い原因は肥料が少ないため）。
● 施肥および農薬の使用	在来種、高収量品種共に尿素を150kg/ha施用。 農薬は使用しない。
● 水源	現在水路が建設中（今年中に完成予定：水源はロランチェレイ堰）、近傍の池の横に揚水機があるが、水源が十分でないためポンプは撤去され揚水は行われていない。
● その他	村外に耕作地を所有する農家もある。池で魚の採取を行っている世帯もある。 農地の価格は\$50/a（水田）、宅地は\$650/a

畜産・漁業	
● 畜産	鶏1～2羽、豚1頭、牛2～3頭が平均飼養規模。 豚を肥育し30kgで販売すると2,500リ/l/kg。100kg程度（8,000～10,000リ/l/kg）まで肥育する農家もある。 豚の販売は村に来る仲買人に販売する。
● 漁業	半数近くの農家が近くの池で小魚を採取している。近傍の市場で販売する農家もある。
● 問題点	耕地が狭いため、給餌するための餌が不足する。家畜の病気。

その他

- 現在のマイクロ・クレジットの供給先である PRASAC がまもなく活動を停止するため、全額返金しなければならない。
- 農民グループは井戸利用者組合が 15 組合（15 井戸）ある。1 組合平均 10～15 世帯から構成される。活動は井戸の修理が必要になった際にお金を出し合う程度。
- 入り婿が多い。
- 土地の相続は男女の区別無く、子供全員に平等に相続される。
- コミューン事務所に電話はない。携帯電話の通話可能エリアである。

写真



村長

（Ou Krang Ambel 村長：Prom Mom 氏）



浮稲

（雨季の洪水に対応し背丈が 2 m にも成長する）



揚水機場外観

（池の傍に 5 m x 10 m、レンガ造り）



揚水機場内部

（揚水機自体は既に撤去されている）



村の地図

（水路の掘削計画が図化されている）



村内の池

（村民はこの池から小魚と蓮を採取し、現金収入を得ている）

2.2.2 インディビジュアル・インフォーマント・インタビュー1

基礎データ	
● 調査日	2003年11月11日(月)午前
● 調査実施場所	調査対象者宅の隣の姉宅(屋外)
● 調査対象農家の特徴	小規模稲作農家
● 調査対象者	Mr. Long Poa(世帯主、32歳)
● 居住地	Ou Krang Ambel村/ Trapeang Kong コミューン/ Samraong Tong 県/ コンボンスプー州 詳細位置(Indian Datum 1954): 104°57'480E、12°69'251N
● 調査実施者	三部信雄、板谷誠治: 調査団 Mr. Mr. Soun Sam Aun: 水資源気象省 Mr. Prak Cheattho: 農業省

家族構成	
<p>在Battambang州 在Prey Veng州 同居家族 32 夫 32 妻 12 小学校4年生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1990年結婚。一人娘との3人家族: 子供をもっと作りたいができない。 ● 奥さんは近くのコミューンからきた。 ● 娘は将来的に大学まで行かせたいが金銭的に難しい。 ● 夫の母は以前まで調査対象者宅隣に住んでいたが、現在はPrey Vengの親戚宅に居住。
<ul style="list-style-type: none"> ● 家族3人とも健康状態は良好。 ● 姉は以前母が住んでいた調査対象者宅隣に居住。 	

収入と支出	
<p>野菜販売 \$50 コメ貯ぎ \$350 収入</p> <p>魚 \$50 衣料品 \$50 コメ \$120 食品 \$160 支出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間200日間は近くのコメ移出業者でコメを運ぶ仕事に就いている。 ● 野菜は近くの池から収穫した蓮を仲買人に販売し、1,500~2,000/日。 ● 年間収入は村内では中位だと思う。 ● 借金・貯金は無い。
<ul style="list-style-type: none"> ● 魚、豚肉、野菜等は近くの市場から頻繁に購入している。 ● 昨年はコメの収穫がゼロで毎月50キロ購入した。 ● 衣料品は35,000 Riel/人を各人年間2着購入。 	

農業	
<ul style="list-style-type: none"> ● 田10a(1区画): 450kgの収穫(4.5 ton/ha) 自家消費 ● 種子は自家生産したもの。 ● 天水田で年1作。 ● 肥料は尿素を2回に分けて年間25kg施用。 ● コメの品種はChmar Promという在来種。 ● 農薬は使用していない。 	

- 本田の田起こし等の準備と苗の準備を5月～6月（1日間）、移植：6月～7月（労働交換で複数で田植え）。収穫：12月頃～（1日：労働交換で行えば半日）
- 家畜は、雌牛2頭、雄牛1頭、鶏1羽、雛9羽。牛は肥育後に販売する。鶏は鶏卵を自家消費。牛2頭は購入したもの。1頭は生まれた。
- 牛の周辺の草を食べている。
- 魚捕りはしない。

その他

- オイルランプを利用している。バッテリーは所有していない。
- 金銭的な余裕があれば、自転車、テレビが欲しい。
- 現状の暮らしに満足している。
- プノンペンに働きに行きたい：収入が良いから。田がせめて2ha程度あれば、今の仕事（コメ担ぎ）は体力的にハードなので辞めたい。
- 半年前にプノンペンの下水道建設現場で働いた。

写真



調査対象者

(世帯主と妻)



住居

(木造トタン葺、右端に雨水を貯める水瓶がある。)



煎じ薬

(主人は健康であると言っていたが、胃薬として木の皮の煎じ薬を飲んでいた。)



住居内

(床は無く、地面に直接木製ベッドが置かれている。各ベッドには蚊帳が吊られている。)



ダイニング・キッチン

(自宅裏にある。熱源は周辺から採取した枝・葉。水瓶が2つ)



調査風景

(調査は日差しを避けるために隣の姉宅の縁台にて実施)

2.2.3 インディビジュアル・インフォーマント・インタビュー-2

基礎データ	
● 調査日	2003年11月11日(月)午前
● 調査実施場所	調査対象者宅(屋外)
● 調査対象農家の特徴	未亡人稲作農家
● 調査対象者	Mrs. Sor Chanthon(世帯主、42歳)
● 居住地	Ou Krang Ambel 村/ Trapeang Kong コミューン/ Samraong Tong 県/ コンボンスプー州
● 調査実施者	石川 尚、岩橋俊郎：調査団 Mr. Heng Yuthin：農業省 Mr. Chin Orng：コンボンスプー州農業局

家族構成

同居家族

- 夫は10年前に死亡。4男3女。現在は5人家族。
- 農業に従事しているのは妻一人。
- 妻は最近セキが出て、ヘルスセンターで薬を買って飲んでいる。

収入と支出

- 収穫したコメは3ヶ月間で消費してしまう。不足分はマーケットで購入(800リル/kg): 100kg/月必要。
- 仕送り: プノンペンの縫製工場で働く子供二人から毎月\$80ずつ仕送りがある。
- 水田の耕起を行うための牛をレンタルするために\$10借金し、毎月\$1ずつ返済。
- 子供二人はバイク通学。

農業

- 水田: 20a、自宅の直ぐ近くに所有。家畜は飼養していない。
- 収量: 1.75 ton/ha。
- 天水田。
- 在来種で、種子は自家生産したものを使用。
- 農薬は使用していない。
- 耕起は牛を借りて行う。
- 田植え: 8月、収穫: 12月
- 田植えには1週間、収穫には2週間かかる。
- 生産したコメは全て自家消費用。

その他

- 生活は楽ではない。
- 飲料水を近所から購入している。250リエル/100リットル、一日100リットル必要。

付属資料5
アンケート調査結果

アンケート調査結果 目次

第1章 調査実施方法	- 301
1 - 1 調査対象村	- 301
1 - 1 - 1 調査対象村の位置	- 301
1 - 1 - 2 調査対象村の概要	- 301
1 - 2 調査方法	- 302
1 - 3 データの分析	- 302
第2章 調査結果	- 303
2 - 1 一般	- 303
2 - 1 - 1 世帯人員	- 303
2 - 1 - 2 農業に従事する世帯人員	- 303
2 - 2 農業	- 303
2 - 2 - 1 経営耕地面積	- 303
2 - 2 - 2 収量	- 304
2 - 2 - 3 栽培品種	- 306
2 - 2 - 4 米の販売	- 306
2 - 2 - 5 米の購入	- 307
2 - 3 畜産	- 307
2 - 3 - 1 家畜飼養・販売頭数	- 307
2 - 4 収入と支出	- 310
2 - 5 現状に対する満足度	- 311
2 - 6 家財道具	- 311
2 - 7 改善の希望	- 311
添付資料：アンケート調査票	
1. 英語、上流農家調査用	- 313
2. 英語、中流農家調査用	- 315
3. クメール語、上流農家調査用	- 317
4. クメール語、中流農家調査用	- 321

第1章 調査実施方法

1 - 1 調査対象村

1 - 1 - 1 調査対象村の位置

アンケート調査は下図に示す2箇所で実施した。プレクトノット川の上流部に位置し、ダム建設により水没するエリアにある村と、プレクトノット川の中流部に位置し、ダムの建設により灌漑地区となるエリアにある村である。両地区においてそれぞれ100軒、合計200軒の調査を行った。

上流部の村はコンボンスプー州 Phnum Sruoch 県 Prey Rumduol コミューンの Prey Romiet 村。全ての世帯がダム建設により水没するエリア内に居住している。中流部の村はコンボンスプー州 Samraong Tong 県 Trapeang Kong コミューンの Ou Krang Ambel 村の69世帯と Soben 村の31世帯、合計100世帯である。

Prey Romiet 村はプノンペンから Sihanoukville に続く国道4号線から5^{km}程非舗装の道路を入ったところにある村である。一方 Ou Krang Ambel 村と Soben 村はともに国道4号線沿い、コンボンスプー州の州都からは10^{km}程にある村である。両村ともプノンペンから車で1時間~1時間半程度の距離にある。

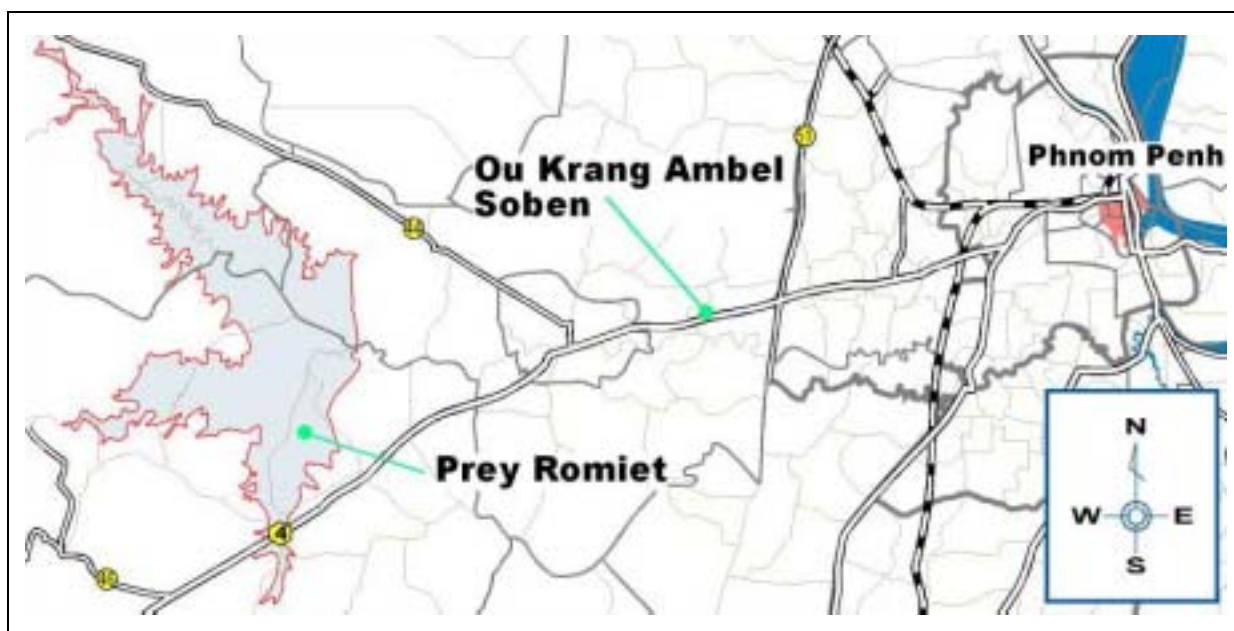


図 調査対象村位置図

1 - 1 - 2 調査対象村の概要

最新の人口調査結果である SEILA プログラムの2002年のデータを基に今回アンケート調査を実施した村の状況を見ると、中流の Ou Krang Ambel 村の寡婦世帯の割合が特に高い(48%)。しかしこれは5歳以下の子供を持つ寡婦世帯がそのうちの6割を占めているため、内戦時代に主を失ったものではなく、最近になって離縁あるいは死別した者が多い(28.6%)。

人口及び世帯数

	世帯数		人口			平均 家族数
	全世帯	寡婦世帯	合計	男性	女性	
上流 Prey Romiet 村	175	26 (14.9%)	825	429 (52.0%)	396 (48.0%)	4.71
Ou Krang Ambel 村	105	50 (47.6%)	606	295 (48.7%)	311 (51.3%)	5.77
中流 Soben 村	35	8 (22.9%)	154	67 (43.5%)	87 (56.5%)	4.40
計	140	58 (41.4%)	760	362 (47.6%)	398 (52.4%)	5.43
コンボンスプー州	127,953	22,676 (17.7%)	665,505	320,610 (48.2%)	344,895 (51.8%)	5.20
全国	2,436,202	395,497 (16.2%)	12,316,214	6,355,316 (51.6%)	5,960,898 (48.4%)	5.06

出展：SEILA Database 2002, SEILA Program, MRD

1 - 2 調査方法

アンケートはクメール語に翻訳した調査票（添付資料）を用いて実施した。調査実施前に、質問項目が現地の実情に合致していることを農家への簡易聞き取り調査で確認後、修正を行った。コンボンスプー州農業局の普及員 2 名を調査実施前にトレーニングし、2003 年 11 月に調査を行った。調査員は下記に示す 2 名である。

- Mrs. Pech Lim / Deputy Chief of Planning, Agricultural Department
- Mr. Chin Orng / Deputy Chief of Planning, Agricultural Department

1 - 3 データの分析

データは有意水準 5% で Grubbs-Smirnov 棄却検定を行い、棄却値を確認した。必要に応じて棄却値を除いた残りのデータについて再度同様に棄却検定を行った後、他の基本統計値を算出した。

第2章 調査結果

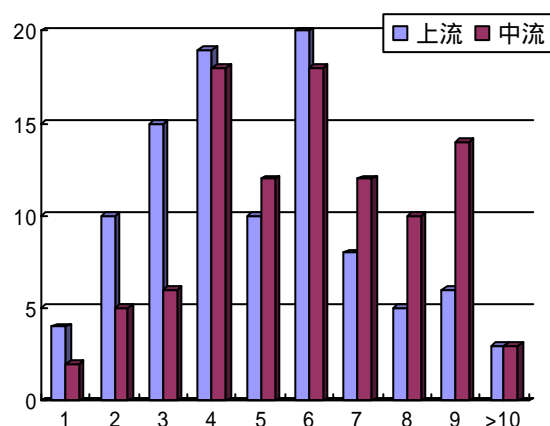
2-1 一般

2-1-1 世帯人員

世帯人員の平均値は上流で4.97人(中央値は5人)、中流で5.93人(中央値は6人)である。中流は上流に比べて0.96人(平均値)多い。

単位：世帯、人

	上流	中流
棄却値	0	0
個数	100	100
最大値	11	13
最小値	1	1
平均値	4.97	5.93
中央値	5	6
標準偏差	2.29	2.30
標準誤差	0.23	0.23

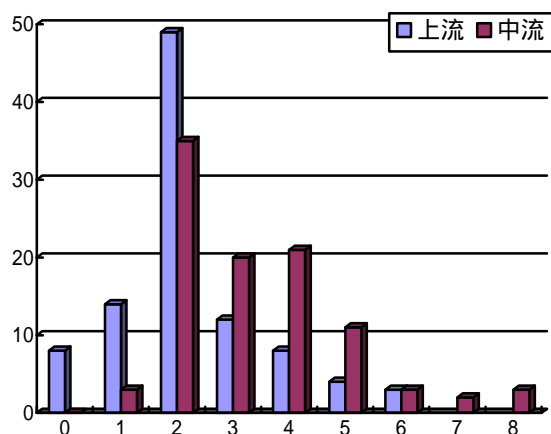


2-1-2 農業に従事する世帯人員

世帯人員のうち主に農業に従事する世帯人員数の平均値は上流で2.23人(中央値2人)、中流で3.35人(中央値3人)である。中流は上流に比べて1.12人(平均値)多い。

単位：世帯、人

	上流	中流
棄却値	2	0
個数	98	98
最大値	6	8
最小値	0	1
平均値	2.23	3.35
中央値	2	3
標準偏差	1.31	1.55
標準誤差	0.13	0.16



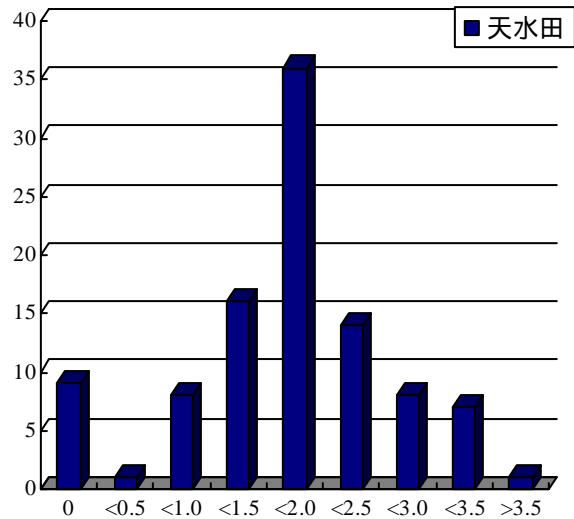
2-2 農業

2-2-1 経営耕地面積

上流では灌漑農業は行われておらず、天水による水田が主であり、天水水田の耕地面積の平均値は1.52ha(中央値1.52ha)である。また農地を所有しておらず畜産経営のみの農家は9軒である。

単位：戸,ha

上流	水田 (灌漑)	水田 (天水)	畑
農地所有世帯数	0	91	2
棄却値		0	
個数		100	
最大値		3.50	
最小値		0.00	
平均値		1.52	
中央値		1.50	
標準偏差		0.82	
標準誤差		0.08	

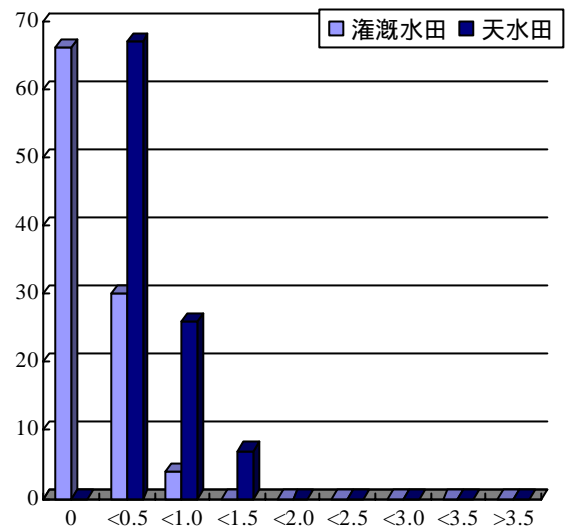


中流の一部地域（調査した Soben 村 31 世帯全て）では灌漑が行われており、Ou Krang Ambel 村と合わせて合計 34 軒が雨期及び乾季に灌漑により水田を耕作している。また調査した全世帯が雨季の天水による水田耕作も行っている。灌漑水田の耕作面積は平均値で 0.14 ha（中央値 0 ha）、天水水田の耕作面積は平均値で 0.42 ha（中央値 0.39 ha）である。灌漑水田では調査した全世帯で二期作が行われている。

中流で灌漑稲作を行っている 34 軒の灌漑水田の耕作面積は平均値で 0.41 ha（中央値 0.45 ha）、天水水田の耕作面積は平均値で 0.41 ha（中央値 0.39 ha）である。

単位：戸,ha

中流	水田 (灌漑)	水田 (天水)	畑
農地所有世帯数	34	100	0
棄却値	0	0	
個数	100	100	
最大値	0.52	1.3	
最小値	0.00	0.00	
平均値	0.14	0.42	
中央値	0.00	0.39	
標準偏差	0.20	0.23	
標準誤差	0.02	0.02	



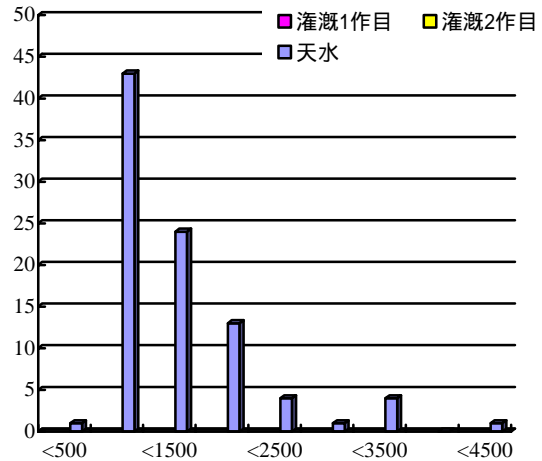
2 - 2 - 2 収量

上流では灌漑による水稲栽培は行われていない。天水田で水稲の栽培を行っている農家数は 91 軒である。

天水田での単位面積あたりの平均収量は 997 kg/ha（中央値 911 kg/ha）である。

単位：kg/ha

上流	灌漑水稻		天水 水稻
	1 作目	2 作目	
栽培農家数	0	0	91
棄却数			7
最大値			2,000
最小値			429
平均値			997
中央値			911
標準偏差			374.34
標準誤差			41.09



中流では灌漑による水稻栽培が 34 軒において行われている。天水田で水稻の栽培を行っている農家数は 100 軒である。

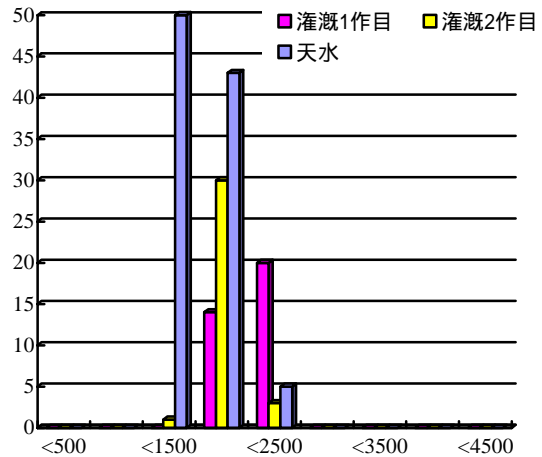
灌漑を利用した水稻栽培の 1 作目の単位面積あたりの平均収量は 2,014 kg/ha (中央値 2,000 kg/ha) である。

灌漑を利用した水稻栽培の 2 作目の単位面積あたりの平均収量は 1,709 kg/ha (中央値 1,700 kg/ha) である。

天水田での水稻栽培の単位面積あたりの平均収量は 1,497 kg/ha(中央値 1,475 kg/ha) である。

単位：kg/ha

中流	灌漑水稻		天水 水稻
	1 作目	2 作目	
栽培農家数	34	34	100
棄却数	0	1	1
最大値	2,350	2,000	2,000
最小値	1,700	1,500	1,200
平均値	2,014	1,709	1,497
中央値	2,000	1,700	1,475
標準偏差	165.30	144.31	185.00
標準誤差	28.78	25.51	18.69



上流における天水田の平均耕地面積が 1.52 ha であるから、1 軒あたりの初めの収量は 1,515 kg/年である。

中流における 1 軒あたりの初めの収量は灌漑水稻 1 作目が 282 kg/年、灌漑水稻 2 作目が 239 kg/年、天水水稻が 629 kg/年となり、年間総生産量は 1,150 kg/年である。

単位：kg/ha, ha, kg/戸

上流	灌漑水稻		天水 水稻
	1 作目	2 作目	
単位面積あたりの平均収量	-	-	997
平均耕地面積	-	-	1.52
1 軒あたりの籾の収量	-	-	1,515
合計収量	1,515		

単位：kg/ha, ha, kg/戸

中流	灌漑水稻		天水 水稻
	1 作目	2 作目	
単位面積あたりの平均収量	2,014	1,709	1,497
平均耕地面積	0.14	0.14	0.42
1 軒あたりの籾の収量	282	239	629
合計収量	1,150		

2 - 2 - 3 栽培品種

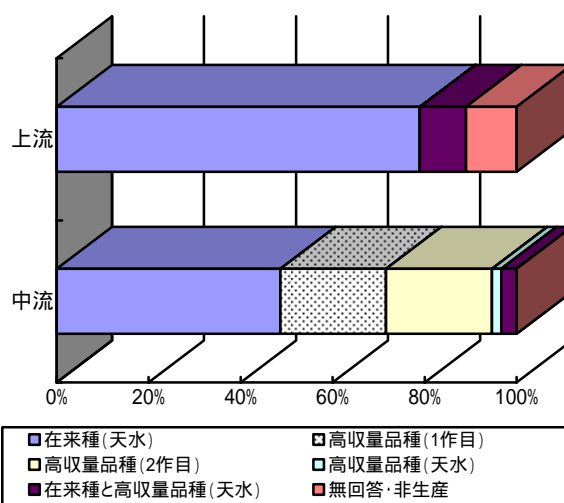
上流では天水田でのみ米の栽培が行われており、栽培を行っている農家数は91軒であり、無回答の2軒を除く89軒が天水田で在来種を栽培している。さらにこの89軒のうち10軒が天水田で高収量品種もあわせて栽培を行っている。

中流の100軒のうち、77軒が天水田で在来種を栽培している。またその77軒のうち5軒が天水田で高収量品種もあわせて栽培を行っている。

中流で灌漑稲作を行っている34軒の全てが高収量品種の栽培を行っている。

単位：戸

	上流	中流
在来種(天水)	79	72
高収量品種 (灌漑1作目)	0	34
(灌漑2作目)	0	34
(天水)	0	3
在来種と高収量品種 の両方	10	5
無回答	2	0
米非生産	9	0



2 - 2 - 4 米の販売

上流で米の栽培を行っている91軒中21軒(23%)が米を販売している。販売価格は400~700 Riel/kgで、販売量は150~2,000 kgである。販売価格の違いは、在来種と高収量品種の違い、販売量の違い、販売先の違い、販売時期の違いが考えられる。

中流では全世帯(100軒)が米の栽培を行っているが、米の販売を行っているのは6軒に過ぎない。販売価格は400~500 Riel/kgで、販売量は200~700 kgである。中流は上流に比べ米の生産量が少ないために販売量も少ないと考えられる。

上流	販売価格 (Riel/kg)	販売量 (kg/戸)
販売農家数	21 軒	
最大値	700	2,000
最小値	400	150

中流	販売価格 (Riel/kg)	販売量 (kg/戸)
販売農家数	6 軒	
最大値	500	700
最小値	400	200

2 - 2 - 5 米の購入

上流では米を栽培していない9軒を含む33軒が米を購入している。購入価格400～700 Riel/kg、購入量は100～1,500 kg/戸である。米を購入している農家で米を販売している農家はない。

中流では100軒全てが米の生産を行っているが、そのうち45軒が米を購入している。購入価格450～550 Riel/kg、購入量は300～2,000 kg/戸である。米を購入している農家で米を販売している農家はない。

上流	購入価格 (Riel/kg)	購入量 (kg/戸)
購入農家数	33 軒	
最大値	700	1,500
最小値	400	100

中流	購入価格 (Riel/kg)	購入量 (kg/戸)
購入農家数	45 軒	
最大値	550	2,000
最小値	450	300

2 - 3 畜産

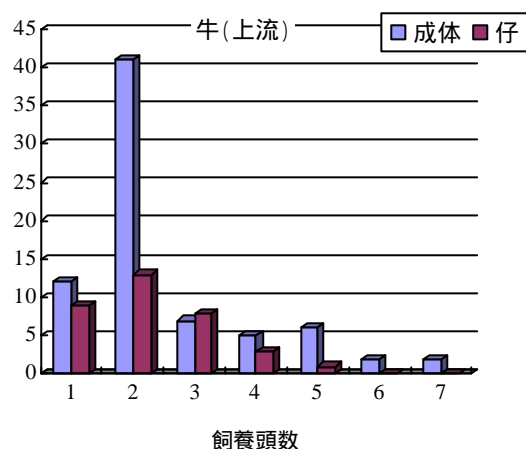
2 - 3 - 1 家畜飼養・販売頭数

(1) 牛

上流では77軒(77%)が牛を飼養している。成体のみを飼養する農家は43軒、仔のみを飼養する農家は2軒である。

飼養頭数は成体の全農家平均が1.9頭(中央値2頭)、仔の全農家平均が0.7頭(中央値0頭)である。過去1年間に飼養していた牛を販売した農家は4軒である。

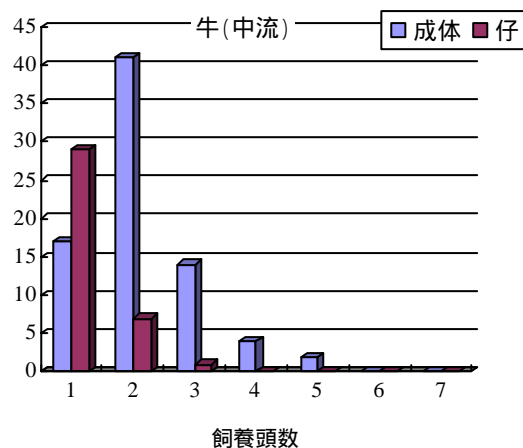
上流	単位：頭	
	成体	仔
飼養農家数	75	34
棄却数	0	1
最大値	7	4
最小値	0	0
平均値	1.91	0.72
中央値	2	0
標準偏差	1.66	1.15
標準誤差	0.17	0.12



中流では 77 軒 (77%) が牛を飼養している。成体のみを飼養する農家は 41 軒、仔のみを飼養する農家は 1 軒である。

飼養頭数は成体の全農家平均が 1.7 頭 (中央値 2 頭)、仔の全農家平均が 0.4 頭 (中央値 0 頭) である。過去 1 年間に飼養していた牛を販売した農家は 9 軒である。

単位：頭		
中流	成体	仔
飼養農家数	78	37
棄却数	0	1
最大値	5	2
最小値	0	0
平均値	1.67	0.43
中央値	2	0
標準偏差	1.19	0.62
標準誤差	0.12	0.06

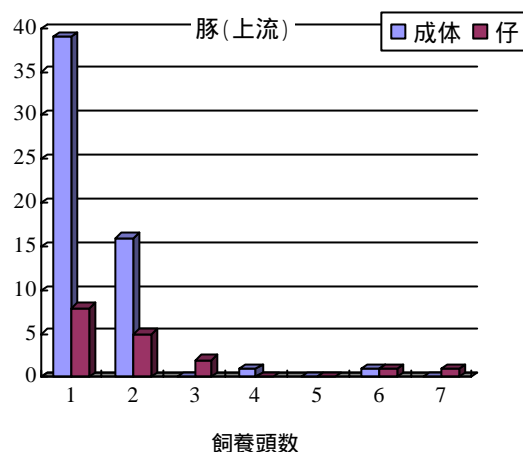


(2) 豚

上流では 66 軒 (66%) が豚を飼養している。成体のみを飼養する農家は 49 軒、仔のみを飼養する農家は 9 軒である。

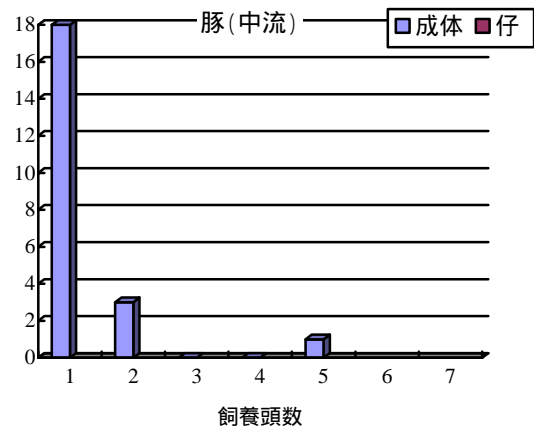
飼養頭数は成体の全農家平均が 0.7 頭 (中央値 1 頭)、過去 1 年間に飼養していた豚を販売した農家は 8 軒である。

単位：頭		
上流	成体	仔
飼養農家数	57	17
棄却数	2	17
最大値	2	0
最小値	0	0
平均値	0.73	0
中央値	1	0
標準偏差	0.73	0
標準誤差	0.07	0



中流では 22 軒 (22%) が豚を飼養している。飼養されている豚は成体のみである。飼養頭数は成体の全農家平均が 0.19 頭 (中央値 0 頭)、仔は飼養されていない。過去 1 年間に飼養していた豚を販売した農家は 7 軒である。

単位：頭		
中流	成体	仔
飼養農家数	22	0
棄却数	4	
最大値	1	
最小値	0	
平均値	0.19	
中央値	0	
標準偏差	0.39	
標準誤差	0.04	



(3) アヒル

上流では6軒がアヒルを飼養している。飼養されているアヒルは成体のみである。

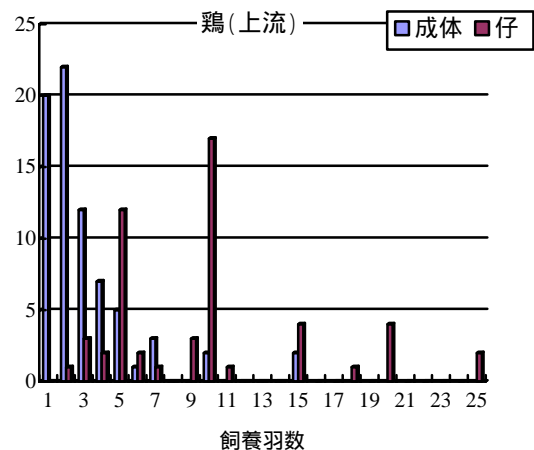
中流では11軒がアヒルを飼養している。成体のみを飼養する農家は10軒、仔のみを飼養する農家1軒である。

(4) 鶏

上流では74軒が鶏を飼養している。成体のみを飼養する農家は21軒、仔のみを飼養する農家はない。

飼養羽数は成体の全農家平均が1.9羽(中央値2羽)、仔の全農家平均が5.1羽(中央値3羽)である。過去1年間に飼養していた鶏を販売した農家は2軒である。

単位：羽		
上流	成体	仔
飼養農家数	74	53
棄却数	4	0
最大値	7	25
最小値	0	0
平均値	1.88	5.14
中央値	2	3
標準偏差	1.76	6.31
標準誤差	0.18	0.63

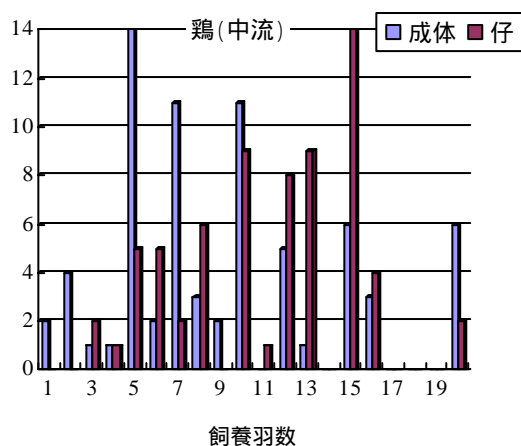


中流では73軒が鶏を飼養している。成体のみを飼養する農家は4軒、仔のみを飼養する農家はない。

飼養頭数は成体の全農家平均が6.6羽(中央値5.5羽)、仔の全農家平均が7.8羽(中央値8羽)である。過去1年間に飼養していた鶏を販売した農家は19軒である。

単位：羽

中流	成体	仔
飼養農家数	72	69
棄却数	0	0
最大値	20	21
最小値	0	0
平均値	6.59	7.76
中央値	5.50	8
標準偏差	5.94	6.25
標準誤差	0.60	0.63



2 - 4 収入と支出

詳細な支出の調査を行わなかったため、粗収入から経営費とコメ購入費を差し引いた残りの全額を“その他の支出”とした。これは聞き取り調査結果からほぼ全ての農家が貯金を持っていないことから、ほぼ全額が支出されていると考えるのが妥当と判断した。

上流は年間 473 千リエル (118 ドル) の現金収入があり、そのうち 77% が農外所得である。余剰米の販売による収入は 73 千リエル (19 ドル) に過ぎない。またコメを作るための生産費として 64 千リエル (16 ドル)、自家生産分で不足する分のコメの購入に 65 千リエル (17 ドル) 支出している。中流は年間 547 千リエル (137 ドル) の現金収入があり、そのうち 80% が農外所得である。余剰米の販売による収入は 13 千リエル (3 ドル) に過ぎない。またコメを作るための生産費として 81 千リエル (20 ドル)、自家生産分で不足する分のコメの購入に 236 千リエル (59 ドル) 支出している。

単位：Riel/年

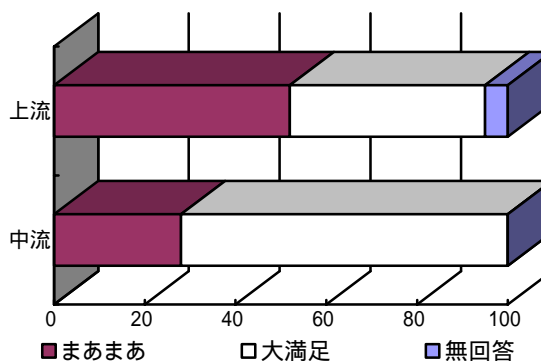
	平均値		中央値	
	上流	中流	上流	中流
粗収入	473,194	547,489	410,000	495,000
1 農業所得	107,236	109,319	0	0
水稻	73,979	13,298	0	0
雨季	73,979	13,298	0	0
乾季	0	0	0	0
野菜	625	4,788	0	0
雨季	625	745	0	0
乾季	0	4,043	0	0
家畜	32,632	91,234	0	0
2 農外所得	365,958	438,170	300,000	350,000
総支出	473,194	547,489	410,000	0
1 経営費	63,600	82,420	55,000	70,000
水稻	63,600	81,303	55,000	70,000
2 コメ購入	65,865	235,979	0	0

2 - 5 現状に対する満足度

現状の生活に対する満足度を 10 段階評価で尋ねた結果、上流では無回答を除く 95 軒中、“まあまあ”と回答した者が半数の 52%、“大満足”と回答した者が 43%であった。平均は 10 段階評価のうち 7.3 ポイントである。

中流では“まあまあ”と回答した者が 28%、“大満足”と回答した者が 72%であった。平均は 10 段階評価のうち 8.6 ポイントである。

単位：戸		
	上流	中流
まあまあ (5/10 ポイント)	52	28
大満足 (10/10 ポイント)	43	72
無回答	5	0
平均	7.26	8.60

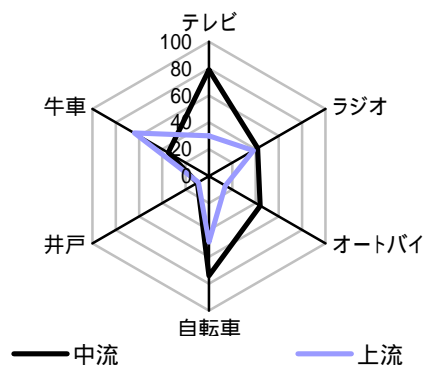


2 - 6 家財道具

上流では牛車と自転車の所有率が高い。下流ではテレビ、自転車の所有率が高い。上流で中流よりも所有率が高いものは牛車だけである (64%)。

農外収入源として山間部での薪や竹の採取、炭焼きがあるが、農外収入がある農家と牛車を所有する農家間に有意な相関関係は無い。

単位：戸		
	上流	中流
テレビ	30	79
ラジオ	38	42
オートバイ	14	44
自転車	49	74
井戸 (個人所有)	9	10
牛車	64	35



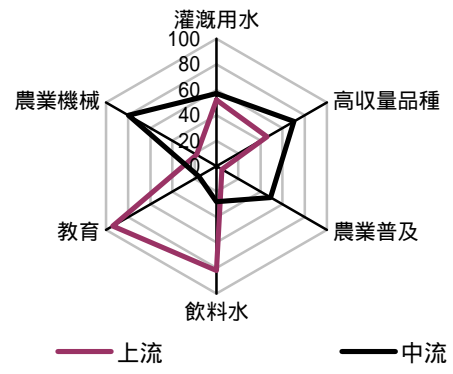
2 - 7 改善の希望

生活に関連した項目のうち、改善したい項目を 3 つ選択してもらった結果、上流では教育 (94%) と飲料水 (82%)、灌漑用水 (52%) の改善を希望する農家が多いのに対し、農業機械や農業普及に対する希望は低かった。

中流では農業機械 (80%)、高収量品種 (70%)、灌漑用水 (57%) を希望する農家が多いのに対し、教育や飲料水に対する希望は低かった。

单位：戸

	上流	中流
灌溉用水	52	57
高収量品種	46	70
農業普及	5	49
飲料水	82	28
教育	94	16
農業機械	18	80



添付資料1: アンケート調査票
 調査票(英語、上流農家調査用)

Sequence No.:

1	Village: 1. Chonlong Mlu 2. Kab Tuk 3. Prey Romiet 4.	
	Interviewee (Head of Household):	Date of Interview :
	Total number of household member:	Number of household member working on agriculture:

2	Landholding and Yield	Land Holding	Yield 1	Yield 2
	- Irrigated Paddy	ha	ton	ton
	Variety	-		
	- Rain-fed Paddy	ha	ton	ton
	Variety	-		
	- Upland	ha	-	-

Note: If the farmer cultivate paddy twice a year, fill out separately in column "Yield 1" and "Yield 2".
 The column "Yield 1" is earlier month than column "Yield 2".

3	Farming Season	Planting		Harvesting	
		Start	Finish	Start	Finish
	First Crop				
	Second Crop				
	Third Crop				

Code for Farming Season:

1. Early January	2. Middle January	3. Late January	19. Early July	20. Middle July	21. Late July
4. Early February	5. Middle February	6. Late February	22. Early August	23. Middle August	24. Late August
7. Early March	8. Middle March	9. Late March	25. Early September	26. Middle September	27. Late September
10. Early April	11. Middle April	12. Late April	28. Early October	29. Middle October	30. Late October
13. Early May	14. Middle May	15. Late May	31. Early November	32. Middle November	33. Late November
16. Early June	17. Middle June	18. Late June	34. Early December	35. Middle December	36. Late December

4	Food Sufficiency (Rice)	Selling	Buying
	- Volume	kg	kg
	- Price	Riel/kg	Riel/kg

5	Nos. of Livestock	Adult	Child	Nos. of selling last year
	- Cow			head
	- Pig			head
	- Duck			head
	- Chicken			head

6	Origin	year		
	How long are you living the village?			
	Where are you come from?	from same village	from same district	from same province
		from other province	from other country	

7	Income	2002/2003	
		Wet Season	Dry Season
	Gross Income		Riel
	On-farm Income		Riel
	Paddy	Riel	Riel
	Vegetables	Riel	Riel
	Livestock		Riel
	Off-farm Income		Riel

Note: Income is total of last 1 (one) year.

Off-farm income is incomes from other than agriculture, salary, migrant work,

8	Farm Inputs	Last 1 year
	- for Paddy	Riel
	- for Vegetables	Riel
	- for Livestock	Riel

9	Satisfaction with life	Dissatisfy	not so bad						Satisfy
		(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(10)	

Note: Ask satisfaction of present life. If 100% satisfy for present life, tick column under (10).

10	Property (Check <input type="checkbox"/> for having property)			
	() TV	() Radio	() Motorbike	() Bicycle
	() Own drilled well	() Pot to store rain water		() Cow trailer

11	Expectation					
	Irrigation water	High yield variety (paddy)	Agri. extension service.	Safe drinking water	Education for children	Agri. machine
1						
2						
3						

Note: Chose 3 (three) expectation from list.

12 Usually, who does responsible for the following Farm Work and Decision Making?

Farm Work	Female	Male	Both	Decision Maker	Female	Male	Both
1. Plowing				1. Selection of Crop			
2. Manure / Fertilizer				2. Sale of Farm Product			
3. Seeding				3. Input to be used			
4. Transplanting							
5. Weeding							
6. Harvesting							
7. Threshing / Pounding							
8. Selling / Marketing							

調查票(英語、中流農家調查用)

Sequence No.:

1	Village:	1. Thma Bang	2. Trakiet	3. Bak Chenhchien	4. Lumpeaeng Preah Ream
		5. Ou Krang Ambel	6. Luong Kong	7. Trapeang Kyang	8. Prey Phdau
		9. Srae Ambel	10. Banh Kangkaeb	11. Trapeang Kong	12. Trapeang Veaeng
		13. Soben	14. Sangkruoh Cheat	15. Trapeang Sang Chiek	16. Trapeang Roka
		17. Trapeang Ampil	18. Tuol Prich	19. Prey Kuy	20. Thlok
		21. Thma Samlieng	22. Thkov	23. Pnov	24. Samraong
		25. Oknha Tep	26. Stueng	27. Kaev Otdam	28. Rumduol
		29. Prey Sophi			

Interviewee (Head of Household):	Date of Interview :
Total number of household member:	Number of household member working on agriculture:

2	Landholding and Yield	Land Holding	Yield 1	Yield 2
	- Irrigated Paddy	ha	ton	ton
	Variety	-		
	- Rain-fed Paddy	ha	ton	ton
	Variety	-		
	- Upland	ha	-	-

Note: If the farmer cultivate paddy twice a year, fill out separately in column "Yield 1" and "Yield 2".
The column "Yield 1" is earlier month than column "Yield 2".

3	Farming Season	Planting		Harvesting	
		Start	Finish	Start	Finish
	First Crop				
	Second Crop				
	Third Crop				

Code for Farming Season:

1. Early January	2. Middle January	3. Late January	19. Early July	20. Middle July	21. Late July
4. Early February	5. Middle February	6. Late February	22. Early August	23. Middle August	24. Late August
7. Early March	8. Middle March	9. Late March	25. Early September	26. Middle September	27. Late September
10. Early April	11. Middle April	12. Late April	28. Early October	29. Middle October	30. Late October
13. Early May	14. Middle May	15. Late May	31. Early November	32. Middle November	33. Late November
16. Early June	17. Middle June	18. Late June	34. Early December	35. Middle December	36. Late December

4	Food Sufficiency (Rice)	Selling	Buying
	- Volume	kg	kg
	- Price	Riel/kg	Riel/kg

5	Nos. of Livestock	Adult	Child	Nos. of selling last year
	- Cow			head
	- Pig			head
	- Duck			head
	- Chicken			head

6	Income	2002/2003	
		Wet Season	Dry Season
	Gross Income		Riel
	On-farm Income		Riel
	Paddy	Riel	Riel
	Vegetables	Riel	Riel
	Livestock		Riel
	Off-farm Income		Riel

Note: Income is total of last 1 (one) year.
Off-farm income is incomes from other than agriculture, salary, migrant work,

7	Farm Inputs	Last 1 year
	- for Paddy	Riel
	- for Vegetables	Riel
	- for Livestock	Riel

8	Satisfaction with life	Dissatisfy (0) not so bad (5) Satisfy (10)							

Note: Ask satisfaction of present life. If 100% satisfy for present life, tick column under (10).

9	Property (Check <input type="checkbox"/> for having property)			
	<input type="checkbox"/> TV	<input type="checkbox"/> Radio	<input type="checkbox"/> Motorbike	<input type="checkbox"/> Bicycle
	<input type="checkbox"/> Own drilled well	<input type="checkbox"/> Pot to store rain water		<input type="checkbox"/> Cow trailer

10	Expectation					
	Irrigation water	High yield variety (paddy)	Agri. extension service.	Safe drinking water	Education for children	Agri. machine
1						
2						
3						

Note: Chose 3 (three) expectation from list.

11 Usually, who does responsible for the following Farm Work and Decision Making?

Farm Work	Female	Male	Both	Decision Maker	Female	Male	Both
1. Plowing				1. Selection of Crop			
2. Manure / Fertilizer				2. Sale of Farm Product			
3. Seeding				3. Input to be used			
4. Transplanting							
5. Weeding							
6. Harvesting							
7. Threshing / Pounding							
8. Selling / Marketing							

លេខ លំដាប់: _____

1	ភូមិ : ១២ ឃុំចេតបុរ្យ ២២ ភាគឧត្តរ ៣២ ក្រុងសៀមរាប ៤២
	ឈ្មោះកសិករ (មេក្រសួង): _____ ភាគចម្រើន: _____
	ចំនួនសមាជិកក្រុមស្រាវជ្រាវ: _____ ចំនួនសមាជិកក្រុមស្រាវជ្រាវដែលធ្វើការងារកសិកម្ម: _____

2	ផ្ទៃដី និង ទិន្នផល	ផ្ទៃដី	ទិន្នផល ១	ទិន្នផល ២
	- ក្រែបស្រូវ	ហត	គោន	គោន
	កូដ			
	- ក្រែបស្រូវ	ហត	គោន	គោន
	កូដ			
	- តំបន់ខ្ពង់រាប	ហត	-	-

កំណត់ចំណាំ មេសិនជាសម្រេចផ្ទៃដីដែលក្នុងខ្លួន ការធ្វើលើកទី១សូមបំពេញក្នុងគោលនិទ្ទេស១ និងលើកទី២ បំពេញក្នុងគោលនិទ្ទេស ២២

3	វដ្តកាលកសិកម្ម	ពេលដំបូង		ពេលប្រមូលផល	
		ចាប់ផ្តើម	បញ្ចប់	ចាប់ផ្តើម	បញ្ចប់
	ដំណាំទី ១				
	ដំណាំទី ២				
	ដំណាំទី ៣				

- លេខកូដសម្រាប់វដ្តកាលកសិកម្ម:
- 1. ដើមទែកក 2. ពាក់កណ្តាលទែកក 3. ដុំទែកក 19. ដើមទែកក្តា 20. ពាក់កណ្តាលទែកក្តា 21. ដុំទែកក្តា
 - 4. ដើមទែកខ្លះ 5. ពាក់កណ្តាលទែកខ្លះ 6. ដុំទែកខ្លះ 22. ដើមទែកស៊ីហា 23. ពាក់កណ្តាលទែកស៊ីហា 24. ដុំទែកស៊ីហា
 - 7. ដើមទែកសា 8. ពាក់កណ្តាលទែកសា 9. ដុំទែកសា 25. ដើមទែកញ្ជា 26. ពាក់កណ្តាលទែកញ្ជា 27. ដុំទែកញ្ជា
 - 10. ដើមទែកសា 11. ពាក់កណ្តាលទែកសា 12. ដុំទែកសា 28. ដើមទែកតុលា 29. ពាក់កណ្តាលទែកតុលា 30. ដុំទែកតុលា
 - 13. ដើមទែកសកា 14. ពាក់កណ្តាលទែកសកា 15. ដុំទែកសកា 31. ដើមទែកម្លិកា 32. ពាក់កណ្តាលទែកម្លិកា 33. ដុំទែកម្លិកា
 - 16. ដើមទែកម្លុតា 17. ពាក់កណ្តាលទែកម្លុតា 18. ដុំទែកម្លុតា 34. ដើមទែក 35. ពាក់កណ្តាលទែក 36. ដុំទែក

4	ស្បៀង (ស្រូវ)	លក់	ទិញ
	ចំនួន	គក	គក
	តម្លៃ	រៀល/គក	រៀល/គក

5	ចំនួនសត្វ	សត្វពេញច័យ	កូនសត្វ	ចំនួនសត្វដែលបានលក់ កំឡាំងមូល
	- គោ			ក្បាល
	- ជ្រូក			ក្បាល
	- ទា			ក្បាល
	- មាន់			ក្បាល

6	ប្រភពកំណើត			
	តើអ្នករស់នៅក្នុងតំបន់នេះបានប៉ុន្មាន ឆ្នាំ ហើយ ?	ឆ្នាំ		
	តើអ្នកមកពីណា ?	មកពីភូមិ	មកពីស្រុក	មកពីខេត្ត
		មកពីខេត្តផ្សេងទៀត	មកពីប្រទេសផ្សេងទៀត	

7	ប្រាក់ចំណូល	2002/2003	
		រដូវវស្សា	រដូវប្រាំង
	ប្រាក់ចំណូលទាំងអស់ (មិនទាន់ដកចេញថ្លៃជើង)		
	ប្រាក់ចំណូលបានមកពី កសិកម្ម		ឡើង
	ស្រូវ	ឡើង	ឡើង
	បន្លែ	ឡើង	ឡើង
	សត្វ		ឡើង
	ប្រាក់ចំណូលបានមកពីមិនមែនកសិកម្ម		ឡើង

ចំណាំ: ប្រាក់ចំណូលសរុបប្រាក់ចំណូលទាំងអស់
ប្រាក់ចំណូលបានមកពីមិនមែនកសិកម្ម ដូចជា: ប្រាក់ខែ ទៅរកការងារផ្សេងទៀត

8	ដើមទុនកសិកម្ម	១. ឆ្នាំកន្លងទៅ
	- សំរាប់ស្រូវ	ឡើង
	- សំរាប់បន្លែ	ឡើង
	- សំរាប់សត្វ	ឡើង

លេខ លំដាប់:

9	តើពេញចិត្តនឹងជីវិតរបស់អ្នក ដើរឬទេ?	មិនពេញចិត្ត	បច្ចុប្បន្ន					ពេញចិត្ត		
		(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

ចំណាំ : សូមស្រាវការពេញចិត្តពីជីវិតរបស់គាត់/នាង/នាគី ១ មើលពេញចិត្ត១០០% នឹងជីវិតបច្ចុប្បន្ន សូមគុណប្រកបចំគ្រោះថ្នាក់ ១០ ហើយមើលពេញចិត្តគុណប្រកបចំគ្រោះថ្នាក់ ០២

10	ទ្រព្យសម្បត្តិ (សូមគ្រូស (✓) បើមាន)			
	() បង្កើនស្រូវ	() ចិញ្ចឹម	() ម៉ូតូ	() កង់
	() មានអន្តរាគមន៍រដ្ឋបាល	() មានអាចសំរាប់ស្តុកទឹកភ្លៀង		() ទេះគោ

11	សេចក្តីរំពឹងទុក					
	ប្រពន្ធត្រូវបាន ស្រួល	គ្រាប់ពូជដំណើប ១ ត្រូវបាន	សេវាផ្សព្វផ្សាយ កសិកម្ម	ទឹកស្អាត	វិស័យអប់រំ សំរាប់កូនចៅ	គ្រឿងយន្ត កសិកម្ម
1						
2						
3						

ចំណាំ: សូមជ្រើសរើសសេចក្តីរំពឹងទុកពីតារាងខាងលើ

12	តាមបច្ចុប្បន្ន តើនិរន្តរ៍លទ្ធផលស្រូវ និងការងារកសិកម្ម និងធ្វើការសំរេចចិត្តខាងក្រោមនេះ?							
	ប្រការងារកសិកម្ម	ប្រើ	ប្រើ	ប្រើ និង ប្រើ	អ្នកធ្វើការសំរេចចិត្ត	ប្រើ	ប្រើ	ប្រើ និង ប្រើ
	1. ជ្រើសរើស (គ្រូ វាស់)				1. ជ្រើសរើសមុខដំណាំ			
	2. ជាក់ស៊ី (បង្កើន គីមី)				2. លក់ផលិតផល			
	3. សាប និងជកសំណាប				3. ជាក់ទន់ប្រើប្រាស់			
	4. ស្នូល							
	5. ថែទាំ (ជកស្បូវ)							
	6. ប្រមូលផល (គ្រូ)							
	7. លក់ផលិតផល							
	8. លក់ (ស្រូវ)							

លេខ លំដាប់:

1	ក្រុម :	១. ថ្នាល	២. ត្រកៅត	៣. ធាតុជញ្ជ្រូង	៤. លំពែងព្រះរាម	៥. អូរក្រោងអំបិល
		៦. ល្ងងកង	៧. ត្រពាំងខ្យង	៨. ត្រៃភ្នំ	៩. ត្រៃអំបិល	១០. ធាតុកង្កែប
		១១. ត្រពាំងគង	១២. ត្រពាំងតេង	១៣. ស្រយង	១៤. សំប្រែចិត្ត	១៥. ត្រពាំងស្រងចេក
		១៦. ត្រពាំងអកា	១៧. ត្រពាំងអំបិល	១៨. ទួលព្រះរាម	១៩. ត្រៃភ្នំ	២០. ដំរី
		២១. គ្នាសំលេង	២២. ដូង	២៣. ដូង	២៤. សំរោង	២៥. ត្រៃសុភា
		២៦. ស្រង	២៧. កែវខ្ពស់	២៨. រំដួល	២៩. ត្រៃ ស្រី	

លេខរៀងកសិករ (មេត្រីសារ): កាលបរិច្ឆេទ:

ចំនួនសមាជិកគ្រួសារសរុប: ចំនួនសមាជិកគ្រួសារដែលធ្វើការងារកសិកម្ម:

2	ផ្ទៃដី និង ទិន្នផល	ផ្ទៃដី	ទិន្នផល ១	ទិន្នផល ២
	- ត្រៃស្រ្តី	ហត	តោន	តោន
	ពូជ	-	-	-
	- ត្រៃស្រូវ	ហត	តោន	តោន
	ពូជ	-	-	-
	- តំបន់ខ្ពង់រាប	ហត	-	-

កំណត់ចំណាំ: មេសែនជាតំបន់ធ្វើត្រៃស្រ្តីដើមក្នុងខែ ការធ្វើលើកទី១ស្រដាច់ពេញក្នុងគ្រួសារនៃទិន្នផល១ និងលើកទី២ មេសែនក្នុងគ្រួសារនៃទិន្នផល ២៥

3	រដ្ឋាការកសិកម្ម	ពេលដាំ		ពេលប្រមូលផល	
		ចាប់ផ្តើម	បញ្ចប់	ចាប់ផ្តើម	បញ្ចប់
	ដំណាំទី ១				
	ដំណាំទី ២				
ដំណាំទី ៣					

- លេខកូដសំរាប់រដ្ឋាការកសិកម្ម:
- ១៥ ដើមទៃមកា ២៥ ពាក់កណ្តាលទៃមកា ៣៥ ទុចទៃមកា ៤៥ ដើមទៃកក្កដា ៥៥ ពាក់កណ្តាលទៃកក្កដា ៦៥ ទុចទៃកក្កដា
 - ៧៥ ដើមទៃក្រូច ៨៥ ពាក់កណ្តាលទៃក្រូច ៩៥ ទុចទៃក្រូច ១០៥ ដើមទៃសំបា ១១៥ ពាក់កណ្តាលទៃសំបា ១២៥ ទុចទៃសំបា
 - ១៣៥ ដើមទៃមីនា ១៤៥ ពាក់កណ្តាលទៃមីនា ១៥៥ ទុចទៃមីនា ១៦៥ ដើមទៃកញ្ឆា ១៧៥ ពាក់កណ្តាលទៃកញ្ឆា ១៨៥ ទុចទៃកញ្ឆា
 - ១៩៥ ដើមទៃស្រា ២០៥ ពាក់កណ្តាលទៃស្រា ២១៥ ទុចទៃស្រា ២២៥ ដើមទៃគុណា ២៣៥ ពាក់កណ្តាលទៃគុណា ២៤៥ ទុចទៃគុណា
 - ២៦៥ ដើមទៃមីនា ២៧៥ ពាក់កណ្តាលទៃមីនា ២៨៥ ទុចទៃមីនា ២៩៥ ដើមទៃមីនា ៣០៥ ពាក់កណ្តាលទៃមីនា ៣១៥ ទុចទៃមីនា
 - ៣២៥ ដើមទៃមីនា ៣៣៥ ពាក់កណ្តាលទៃមីនា ៣៤៥ ទុចទៃមីនា ៣៥៥ ដើមទៃមីនា ៣៦៥ ពាក់កណ្តាលទៃមីនា ៣៧៥ ទុចទៃមីនា

4	ស្រូវ (ត្រូវ)	លក់	ទិញ
	- ចំនួន	គក	គក
	- តំលៃ	រៀល/គក	រៀល/គក

5	ចំនួនសត្វ	សត្វពេញវ័យ	កូនសត្វ	ចំនួនសត្វដែលបានលក់ឆ្នាំមុន
	- គោ			ក្បាល
	- ជ្រូក			ក្បាល
	- ទា			ក្បាល
	- មាន់			ក្បាល

6	ប្រាក់ចំណូល	2002/2003	
		រដូវវស្សា	រដូវប្រាំង
	ប្រាក់ចំណូលទាំងអស់ (មិនទាន់ទូទាត់ថ្លៃដើម)		
	ប្រាក់ចំណូលបានមកពី កសិកម្ម		ឡើយ
	ស្រូវ	ឡើយ	ឡើយ
	បន្លែ	ឡើយ	ឡើយ
	សត្វ		ឡើយ
	ប្រាក់ចំណូលបានមកពីមិនមែនកសិកម្ម		ឡើយ

ចំណាំ: ប្រាក់ចំណូលសរុបទាំងអស់នៅ

ប្រាក់ចំណូលបានមកពីមិនមែនកសិកម្ម ដូចជា: ប្រាក់ខែ នៅការងារផ្សេងទៀតនៅខាងក្រៅ

7	ដើមទុនកសិកម្ម	១. ឆ្នាំកន្លងទៅ
	- សំរាប់ស្រូវ	ឡើយ
	- សំរាប់បន្លែ	ឡើយ
	- សំរាប់សត្វ	ឡើយ

8	តើពេញចិត្តនឹងលទ្ធផលរបស់អ្នក ដែរឬទេ?	មិនពេញចិត្ត	បង្កការ	ពេញចិត្ត
		(0)	(5)	(10)

ចំណាំ : សូមសម្រេចចិត្តលើលទ្ធផលរបស់អ្នកនៃការបង្កើនចំនួន ២ ម៉ែត្រពេញចិត្ត១០០%នៃលទ្ធផលបង្កើនចំនួន ស្រូវកសិកម្មរបស់អ្នកនេះ ១០ ដោយមើលពេញចិត្តកសិកម្មរបស់អ្នកនេះ ០៥

9	ទ្រព្យសម្បត្តិ (ស្របត្រូវ (√) បើមាន)			
	() បង្កើនចំនួន	() ចិញ្ចឹម	() ម៉ូតូ	() ភ្នំ
	() មានទុនទុកកសិកម្ម	() មានវាលសំរាប់ស្តុកទំនិញស្រូវ	() ទោះគោ	

លេខ លំដាប់:

10	សេចក្តីវិវាទ						
		ប្រពន្ធនៃប្រធាន ប្រពន្ធ	គ្រាន់ពូជនិម (ស្រ្តី)	សេវាជំនួយ រយៈកសិកម្ម	ទឹកស្អាត	វិស័យអប់រំ សំរាប់កូនចៅ	គ្រឿងយន្ត កសិកម្ម
	1						
	2						
3							

ចំណាំ: សូមជ្រើសរើសសេចក្តីវិវាទពិភាក្សាខាងលើ

11	តារាងបង្ការ តើទណ្ឌទទួលខុសត្រូវនូវការងារកសិកម្ម និងធ្វើការសំរេចចិត្តខាងក្រោមនេះ?							
	មការងារកសិកម្ម	ប្រើ	ប្រើ	ប្រើ និង ប្រើ	អ្នកធ្វើការសំរេចចិត្ត	ប្រើ	ប្រើ	ប្រើ និង ប្រើ
	1. ជ្រូកចំរើ (ត្រូវ វាស់)				1. ជ្រូកចំរើសម្រាប់ដំណាំ			
	2. ដាក់ដី (បង្កជាតិ គីមី)				2. លក់ដំណើរការ			
	3. សាប និងដកសំណាម				3. ដាក់ទន់ប្រើប្រាស់			
	4. ស្អុយ							
	5. ថែទាំ (ដកស្មៅ)							
	6. ប្រមូលផល (ប្រូត)							
	7. បោកម៉ែន							
	8. លក់ (ស្រ្តី)							

付属資料6
公聴会質問票

Questionnaire for Public Hearing Meeting

1. Respondent (Please select with circle)

a) Organization-1	MOWRAM / PDWRAM / MAFF / PDAFF / District / Commune		
b) Organization-2	Angk Snuol	Kandal	
c) Organization-3 (only representatives from communes)	Baek Chan Boeng Thum Chhak Chheu Neang Damnak Ampil Kantaok Krang Mkak Lumhach Peuk Prey Puok	Daeum Rues Roka Roleang Kaen	
d) Respondent	Name		Position
	Name		Position

2. Present Water Resource and Irrigation Condition

No.	Question	Answer	
1	What is the water source for paddy rice cultivation ?	Prek Thnot River	
		Small river	
		Small reservoir	
		Rainfall	
		Others ()	
2	Is the water source sufficient for paddy rice cultivation ?	Prek Thnot River	Yes / No
		Small river	Yes / No
		Small reservoir	Yes / No
		Rainfall	Yes / No
		Others ()	Yes / No
3	What kind of irrigation facilities do you have ?	Canal	Yes / No
		Pump	Yes / No
		Small reservoir	Yes / No
		Others ()	Yes / No
4	How about condition and function of the irrigation facilities ?	Canal	good / fair / bad
		Pump	good / fair / bad
		Small reservoir	good / fair / bad
		Others ()	good / fair / bad

3. Categorization of Area

(a) Please give percentage of following categorization in your commune / district / province.

Categorization		Percentage (%)
Type A	<p>IRRIGATION SYSTEM OF PREK THNOT RIVER WITH SUFFICIENT WATER</p> <p>We have irrigation system whose water source is the Prek Thnot River. We can cultivate paddy rice with the irrigation system in the wet season even with some water shortage. We can also use some water from the Prek Thnot River in the dry season.</p>	
Type B	<p>IRRIGATION SYSTEM OF PREK THNOT RIVER BUT WATER IS NOT GOOD</p> <p>We have irrigation system whose water source is the Prek Thnot River. However, we can not get sufficient water even in the wet season. We do not depend much on the existing irrigation system.</p>	
Type C	<p>SMALL SCALE IRRIGATION WITHOUT PREK THNOT RIVER WATER</p> <p>We have small irrigation system such as small reservoir or irrigation canals. But the water source is not the Prek Thnot River.</p>	
Type D	<p>NO WATER SOURCE BESIDE RAINFALL AND NO IRRIGATION FACILITIES</p> <p>We do not have water source for irrigation. We depend on rainfall only. We do not have irrigation facilities.</p>	

(b) What is the most serious problem in your area ?

(c) How can you solve the above problem ?

(d) What is the constraints to solve the above problem ?

4. Agriculture Development and Income Improvement

(a) Please select your choice for agriculture development and income improvement approach

Categorization		Answer with Number
Type I	TWO CROPPING OF PADDY RICE (High Yield Variety) We would like to cultivate paddy rice (high yield variety) twice a year with irrigation system and sufficient water sources. We will sell the rice and improve our income.	
Type II	ONE CROPPING OF PADDY RICE (Local or High Yield Variety) We will cultivate local or high yield paddy rice under irrigated condition in the wet season. We also try to cultivate non-rice crops before or after paddy rice cultivation for improvement of income.	
Type III	RAINFED PADDY RICE FOR SELF CONSUMPTION (Local Variety) We will try to improve paddy rice production to satisfy self consumption by use of improved seed, farming technology and existing small water body such as pond, drain, etc. Income increase will be achieved by livestock production and other small business.	
Type IV	NON-FARM-ORIENTED INCOME INCREASE We will try to increase cash income from non-crop or non-agricultural income sources such as labor work, factory employee, retail and other small business. We will purchase rice with the cash income.	

(b) What do you need to realize your first priority development or improvement approach?

--

(c) What do you expect most to the government ?

--

5. Development Priority

(a) Please give development priority in your area

Item	Priority
Irrigation	
Agricultural extension (improvement of farming technique, input supply, credit for agriculture)	
Non-crop income generation (livestock, business, labor, etc)	
Rural infrastructure (road, water supply, sanitation)	
Education (including school construction)	
Health	
Others (Please specify)	

6. Message or Comment to RGOC

7. Message or Comment to JICA

Thank you !

Questionnaire for Public Hearing Meeting

1. Respondent (Please select with circle)

a) Organization-1	MOWRAM / PDWRAM / MAFF / PDAFF / District / Commune		
b) Organization-2	Angk Snuol	Kandal	
c) Organization-3 (only representatives from communes)	Baek Chan Boeng Thum Chhak Chheu Neang Damnak Ampil Kantaok Krang Mkak Lumhach Peuk Prey Puok	Daeum Rues Roka Roleang Kaen	
d) Respondent	Name		Position
	Name		Position

2. Present Water Resource and Irrigation Condition

No.	Question	Answer	
1	What is the water source for paddy rice cultivation ?	Prek Thnot River	
		Small river	
		Small reservoir	
		Rainfall	
		Others ()	
2	Is the water source sufficient for paddy rice cultivation ?	Prek Thnot River	Yes / No
		Small river	Yes / No
		Small reservoir	Yes / No
		Rainfall	Yes / No
		Others ()	Yes / No
3	What kind of irrigation facilities do you have ?	Canal	Yes / No
		Pump	Yes / No
		Small reservoir	Yes / No
		Others ()	Yes / No
4	How about condition and function of the irrigation facilities ?	Canal	good / fair / bad
		Pump	good / fair / bad
		Small reservoir	good / fair / bad
		Others ()	good / fair / bad

3. Categorization of Area

(a) Please give percentage of following categorization in your commune / district / province.

Categorization		Percentage (%)
Type A	<p>IRRIGATION SYSTEM OF PREK THNOT RIVER WITH SUFFICIENT WATER We have irrigation system whose water source is the Prek Thnot River. We can cultivate paddy rice with the irrigation system in the wet season even with some water shortage. We can also use some water from the Prek Thnot River in the dry season.</p>	
Type B	<p>IRRIGATION SYSTEM OF PREK THNOT RIVER BUT WATER IS NOT GOOD We have irrigation system whose water source is the Prek Thnot River. However, we can not get sufficient water even in the wet season. We do not depend much on the existing irrigation system.</p>	
Type C	<p>SMALL SCALE IRRIGATION WITHOUT PREK THNOT RIVER WATER We have small irrigation system such as small reservoir or irrigation canals. But the water source is not the Prek Thnot River.</p>	
Type D	<p>NO WATER SOURCE BESIDE RAINFALL AND NO IRRIGATION FACILITIES We do not have water source for irrigation. We depend on rainfall only. We do not have irrigation facilities.</p>	

(b) What is the most serious problem in your area ?

(c) How can you solve the above problem ?

(d) What is the constraints to solve the above problem ?

4. Agriculture Development and Income Improvement

(a) Please select your choice for agriculture development and income improvement approach

Categorization		Answer with Number
Type I	TWO CROPPING OF PADDY RICE (High Yield Variety) We would like to cultivate paddy rice (high yield variety) twice a year with irrigation system and sufficient water sources. We will sell the rice and improve our income.	
Type II	ONE CROPPING OF PADDY RICE (Local or High Yield Variety) We will cultivate local or high yield paddy rice under irrigated condition in the wet season. We also try to cultivate non-rice crops before or after paddy rice cultivation for improvement of income.	
Type III	RAINFED PADDY RICE FOR SELF CONSUMPTION (Local Variety) We will try to improve paddy rice production to satisfy self consumption by use of improved seed, farming technology and existing small water body such as pond, drain, etc. Income increase will be achieved by livestock production and other small business.	
Type IV	NON-FARM-ORIENTED INCOME INCREASE We will try to increase cash income from non-crop or non-agricultural income sources such as labor work, factory employee, retail and other small business. We will purchase rice with the cash income.	

(b) What do you need to realize your first priority development or improvement approach?

--

(c) What do you expect most to the government ?

--

5. Development Priority

(a) Please give development priority in your area

Item	Priority
Irrigation	
Agricultural extension (improvement of farming technique, input supply, credit for agriculture)	
Non-crop income generation (livestock, business, labor, etc)	
Rural infrastructure (road, water supply, sanitation)	
Education (including school construction)	
Health	
Others (Please specify)	

6. Message or Comment to RGOC

7. Message or Comment to JICA

Thank you !

付属資料7
収集資料リスト

資料収集リスト

主管課長

図書館 受入日

		プロジェクト ID	021-1072-F-0	調査団番号	- - -		
地域		調査団名 又は専門家氏名	プレクトノット流域農業総合開発計画予備調査	調査の種類 又は指導科目	予備調査	担当部課	農村開発部 第一グループ
国名	カンボジア	配属機関名		現地調査期間 又は派遣期間	2003年10月～ 2004年1月	担当者氏名	

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
001	Environmental and Resettlement Evaluation Prek Thnot Project Re-appraisal Study –Cambodia-	Copy	Report	SMEC	March 1990	
002	The Survey of the Electrical Power System around Phnom Penh and Land Use Study of the Proposed Prek Thnot Reservoir Area II. Land Use Map of the Prek Thnot Reservoir Area Cambodia Final Report (Appendix: Land Use Map of the Prek Thnot Reservoir Area)	Copy	Report	SwedPower	January 1991	
003	Prek Thnot Multipurpose Project Environment Study Report	Copy	Report	Nippon Koei, SMEC	August 1994	
004	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 1, Summary	Copy	Report	SMEC, ACR	December 1991	
005	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 2, Power Development & Reservoir Land Use Study	Copy	Report	ACR, SwedPower	September 1990	
006	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 3, Civil Headworks	Copy	Report	ACR, SMEC	December 1991	
007	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 4, Plant & Equipment Power Station & Irrigation Headworks	Copy	Report	ACR, Japanese Consortium	January 1992	
008	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 5, Irrigation Volume 5.1, Main Report	Copy	Report	ACR, Euroconsult	December 1991	

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
009	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 5, Irrigation Volume 5.2, Annexes I-V	Copy	Report	ACR, Euroconsult	December 1991	
010	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 5, Irrigation Volume 5.3, Annex VI	Copy	Report	ACR, Euroconsult	December 1991	
011	Prek Thnot Multipurpose Project Reappraisal Report Volume 5, Irrigation Volume 5.4, Annexes VII-X	Copy	Report	ACR, Euroconsult	December 1991	
012	Topographical Map in scale of 1:100,000 All over the Study Area in 1 sheet	Hard Copy & Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation	October 2003	
013	Topographical Map in scale of 1:100,000 No. 5831	Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
014	Topographical Map in scale of 1:100,000 No. 5832	Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
015	Topographical Map in scale of 1:100,000 No. 5833	Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
016	Topographical Map in scale of 1:100,000 No. 5931	Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
017	Topographical Map in scale of 1:100,000 No. 5932	Digital (CD-ROM)	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
018	GIS Data	Digital (CD-ROM)	Data	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
019	Cambodia Road Net Work in scale of 1,000,000 Version 12_01	Print	Map	JICA and Ministry of Public Works and Transportation		
020	Mapping Vulnerability to Natural Disasters in Cambodia	Original	Report	NCDM, WFP	March 2003	
021	Presentation by His Excellency Nhim Vanda, First Vice President, National Committee for Disaster Management to The Consultative Group Meeting for Cambodia	Original	Report	Council of Ministers	June 2001	
022	Application Form for Japan's Grant Aid The Project for Improvement of Metrological Reduction of Natural Disasters and Development of Socio-Economy in The Kingdom of Cambodia	Copy	Document			
023	Report on Disaster Management Activities	Copy	Report	NCDM	2002	

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
024	Food Aid for Recovery and Rehabilitation – Cambodia 6038.01	Copy	Report	WFP	September 2000	
025	Environment: Concept and Issues A Focus on Cambodia	Copy	Report	Ministry of Environment (UNDP/ETAP)	1999	
026	Institutional Strengthening and Expanding EIA Capacity in Cambodia Final Report, Volume 1 Summary and Main Report	Copy	Report	ADB, Ministry of Environment	January 1999	
027	Institutional Strengthening and Expanding EIA Capacity in Cambodia Final Report, Volume 2 Annexes (EIA Sub-degree/Process Guideline/Standard Prakas)	Copy	Report	ADB, Ministry of Environment	January 1999	
028	Suspected-Mine and UXOs Contaminations and Demined Areas in Kampong Speu Province (全 5 葉) (Scale 1:100,000)	Original (Reprint)	Map	CMAC Database	November 2003	
029	Geology/Geomorphology Map of Cambodia (Scale 1:50,000)	Original (Reprint)	Map	Ministry of Public Works and Transportation	November 2003	
030	Prek Thnot Flood Relief Channel Hydrological Report	Copy	Report	Emergency Flood Rehabilitation Project, ADB/MOWRAM	September 2001	
031	Prek Thnot Flood Relief Channel ~ Design Note (Draft)	Copy	Report	Emergency Flood Rehabilitation Project, ADB/MOWRAM	December 2003	
032	Prek Thnot Flood Relief Channel ~ Design Note (Draft) Appendix A and B: Drawings	Copy	Report	Emergency Flood Rehabilitation Project, ADB/MOWRAM	December 2003	
033	Hydrological Observation Book ~ Gauge Height in Meters (2000~2002)	Copy	Record	Provincial Department of Water Resources and Meteorology, Kampong Speu Province	December 2003	
034	Hydrological Observation Book ~ Gauge Height in Meters (1994~1999)	Copy	Record	Provincial Department of Water Resources and Meteorology, Kampong Speu Province	December 2000	
035	WFP in Cambodia 2003	Copy	Brochure	World Food Programme	2003	
036	Mapping Vulnerability to Natural Disasters in Cambodia	Copy	Report	National Committee for Disaster Management, RGOC	March 2003	
037	Stung Prek Thnoat River Basin: Preliminary Water Use Study	Copy	Report	Partners for Research and Sustainable Development PRD (Water and Environment)	November 2003	
038	Sherlock Instruments and Equipment (Catalog of Raingauge that is used by MOWRAM)	Original	Catalog	Hydrological Services PTY. LTD., Sydney, Australia	1994	
039	Module 1 on Introduction to Participatory Irrigation Management and Development (PIMD)	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
040	Module 2 on Participatory Irrigation Management and Development: Policy, Legal and Institutional Framework	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural	October 2003	

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
				Sector Loan)		
041	Module 3 on Planning and Implementing Participatory Irrigation Management and Development at the National Level	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
042	Module 4 on Implementation of Participatory Irrigation Management and Development at Provincial and Irrigation System Levels	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
043	Module 5 on Establishing and Developing the Farmer Water Users Community	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
044	Module 6 on Monitoring and Evaluation System for PIMD	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
045	Module 7 on Technical Guide for Irrigation Water Management	Original	Report	Department of Irrigated Agriculture, MOWRAM (ADB Agricultural Sector Loan)	October 2003	
046	水資源気象省で使用している流速計、水位計のカタログ。水位計設置費用見積り	Copy	Catalog/ Report	Department of Hydrology and River Works, MOWRAM	November 2003	Director, Mr. Te Navuth
047	SEILA Data Base 2002	Digital (CD-ROM)	Data	SEILA Programme (UNDP)	November 2003	
048	LAW ON WATER RESOURCES MANAGEMENT OF THE KINGDOM OF CAMBODIA (Draft)	Copy	Report	Department of Water Resources Management and Conservation, MOWRAM	March 2002	Director, Dr. Theang Tara
049	Introduction of Western Phnom Penh Integrated Development Center Project (Slide of Power Point)	Digital (CD-ROM)	Report	Department of Planning and International Cooperation	October 2003	Director, Mr. Pich Veasna
050	Monthly rainfall data at 17 stations in Kampong Speu Province	Digital (CD-ROM)	Record compiled	Department of Hydrology and River Works, MOWRAM	October 2003	Director, Dr. Theang Tara
051	Soil Map of Cambodia (Scale 1:3,500,000)	Original (Reprint)	Map	Agricultural Soil Unit of Department of Planning Statistics and International Cooperation, MAFF	June 2002	
052	Soil Map of Kandal Province, (Scale 1:500,000)	Original (Reprint)	Map	Agricultural Soil Unit of Department of Planning Statistics and International Cooperation, MAFF	2000	
053	Soil Map of Kampong Speu Province, (Scale 1:500,000)	Original (Reprint)	Map	Agricultural Soil Unit of Department of Planning Statistics and International Cooperation, MAFF	2000	
054	Soil Map of Takeo Province, (Scale 1:500,000)	Original (Reprint)	Map	Agricultural Soil Unit of Department of Planning Statistics and	2000	

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
				International Cooperation, MAFF		
055	Soil Map of Cambodia (Scale 1:3,000,000)	Original (Reprint)	Map	Agricultural Soil Unit of Department of Planning Statistics and International Cooperation, MAFF	2003	
056	Statistical Year Book 2003	Original	Statistics	National Institute of Statistics, Ministry of Planning	September 2003	
057	Cambodia Socio-Economic Survey 1999	Original	Report	National Institute of Statistics, Ministry of Planning	May 2000	
058	National Accounts of Cambodia 1993-2002	Original	Report	National Institute of Statistics, Ministry of Planning	July, 2003	
059	Longitudinal profiles of the main canals of West Phnom Penh Irrigation and Drainage Development Project (Hun Sen Project)	Digital/ Print	Data	Engineering Department of MOWRAM	October 2003	(Mr. Ngoun Pich, Deputy Director)
060	Layout Map of Western Phnom Penh Development Center Project	Copy	Map	Engineering Department of MOWRAM	December 2003	(Mr. Mao Hak, Deputy Director of Meteorology)
061	Directory of Importance Bird Areas in Cambodia, Key Sites for Conservation	Copy	Report	Department of Forestry and Wildlife, Department of Nature Conservation and Protection, BirdLife International, Wildlife Conservation Society Cambodia Program, Danida	March 2003	
062	Livestock in Cambodian Rice Farming System	Original	Report	Cambodia-IIRRI-Australia Project	1998	
063	Classifying Cambodia Soils from an Agronomic Perspective	Original	Report	Cambodia-IIRRI-Australia Project	?	
064	Land, Rural Livelihoods and Food Security in Cambodia	Original	Report	Cambodia Development Resource Institute	October 2002	
065	Land Transactions in Cambodia	Original	Report	Cambodia Development Resource Institute	July 2002	
066	Off-farm and Non-farm Employment: A Perspective on Job Creation in Cambodia	Original	Report	Cambodia Development Resource Institute	February 2003	
067	Annual Research Report 2001	Original	Report	CARDI	2002	
068	Second Five Year Socioeconomic Development Plan, 2001 – 2005, Second Draft	Copy	Developm ent Plan	Ministry of Planning	March 2001	
069	Final Socioeconomic Development Plan II (SEDPII)	Digital	Developm ent Plan	Ministry of Planning		
070	Annual Work Plan No.4 (May 2002 – April 2003), Support Program for the Agricultural Sector in Cambodia (PRASAC)	Copy	Report	PRASAC		
071	Annual Work Plan No.5 (May 2003 – December 2003), Support Program for	Copy	Report	PRASAC		

番号 No.	資料の名称 Name of Documents	形態 Orig. / Copy	種類 Type	発行機関 Organization of Publication	発行年月 Published	
	the Agricultural Sector in Cambodia (PRASAC)					
072	Final Annual Plan (July 2003 – June 2004)	Copy	Report	CAAEP		
073	Report of Agricultural Marketing in Cambodia	Copy	Report	Agricultural Marketing Office, MAFF	July, 1997	
074	Agricultural Livestock, Forestry and Fisheries Production (1980 – 2000)	Copy	Statistics	MAFF		
075	Agricultural Statistics, 2000-2001	Original	Statistics	MAFF		
076	Agricultural Statistics, 2001-2002	Copy	Statistics	MAFF		
077	Agricultural Statistics, 2002-2003	Original	Statistics	MAFF		
078	Food Balance Sheet, Paddy 20002-2003	Original	Statistics	MAFF		
079	Price Bulletin for Agricultural Commodity, 1999	Original	Statistics	MAFF		
080	Price Bulletin for Agricultural Commodity, 2000	Original	Statistics	MAFF		
081	Price Bulletin for Agricultural Commodity, 2001	Original	Statistics	MAFF		
082	Price Bulletin for Agricultural Commodity, 2002	Original	Statistics	MAFF		
083	Price Bulletin for Agricultural Commodity, 2003	Original	Statistics	MAFF		
084	Assessment of the Agro-Industrial Situation on Cambodia	Digital	Report	PRASAC	February 2003	
085	カンボジアにおける農業の現状とその振興施策	Digital		JICA 専門家(藤定)	July 2003	
086	カンボジアの農林水産物の現状とその開発に当たっての基礎資料	Digital		JICA 専門家(藤定)	July 2003	
087	農林水産業を中心としたカンボジアの地域開発のための基礎資料	Digital		JICA 専門家(藤定)	August 2003	
088	Commune Boundary Map of Kampong Speu Province	Digital/ Print				
089	Cambodia Forestry Statistics to 2002	Original	Report	Department of Forestry and Wildlife	May 2003	
090	Description of Rice Varieties Released by the Varietal Recommendation Committee of Cambodia (1990-2000)	Original		CARD	2001	